

令和6年刊行
区勢統計要覧

瀬谷



せやまる&このは

瀬谷区のキャラクター（平成 14 年 1 月 制定）



せやまる



このは

「せやまる」と妹の「このは」です。
瀬谷区の形に似ているコノハズクをデザイン化し、区民のみなさんから愛称を募集して決定しました。

このほかに、ファミリーとして「おとうさん」「おかあさん」「おじいちゃん」「おばあちゃん」もいます。



おとうさん



おかあさん



おばあちゃん



おじいちゃん

瀬谷区のシンボルマーク（昭和 63 年 8 月 制定）



区制 20 周年を記念して、制定しました。「セヤ」の頭文字の「セ」を無限の可能性を秘めた宇宙の星にデザインしたものです。

瀬谷区の花・木・鳥（昭和 59 年 10 月 区制 15 周年を記念して制定）



アジサイ



ケヤキ



オナガ

はじめに

瀬谷区は、昭和 44 年 10 月に戸塚区から分区して誕生しました。

市の最西部に位置し、南北に細長い地形で5本の川が流れており、市内最大級の上瀬谷農業専用地区をはじめとした良好な農地や樹林地が多く、市内でも恵まれた自然環境にあります。

また、道路や下水道といった都市基盤の整備がすすむとともに、区民の憩いの場・活動の場となる都市施設の整備も着実にすすんでいます。

さらに 2027 年には、旧上瀬谷通信施設において「GREEN×EXPO2027(2027 年国際園芸博覧会)」が開催されます。

現在瀬谷区では、「幸せが実感できる瀬谷づくり」を区政運営の基本理念に掲げ、地域とともに課題に立ち向かい、ひとつひとつの仕事を丁寧に行うことにより、区民の皆様が安心して暮らし、幸せを実感していただける区づくりを目指しています。

この「区勢統計要覧 瀬谷」は、瀬谷区の移り変わりを数字で見えていただくとともに、横浜市における瀬谷区の現状等を統計資料をもとにとらえたものです。

この冊子が、瀬谷区を知るうえでの参考資料として皆様にご活用いただければ幸いです。

刊行にあたり、貴重な資料を提供してくださいました関係諸機関のご好意にお礼申し上げます。



ご利用にあたって

構成比等の算出については、端数を四捨五入しているため合計に一致しない場合があります。

また、「年度」というのは4月1日から翌年3月 31 日まで、「年」というのは 1 月1日から 12 月 31 日までの統計数値を指します。なお、表中の符号は次のとおりです。

「—」…データなし

「0」…ゼロまたは単位未満のもの

「X」…数値が少ないため特に秘したもの

目次

◇はじめに・ご利用にあたって	
◇瀬谷区のあゆみ	1
◇地勢	
・ 瀬谷区の位置	6
・ 広ぼう及び最高地	6
・ 瀬谷区都市計画区域及び用途地域面積	6
・ 瀬谷区の町名	7
・ 町丁別面積	7
◇人口	
・ 区別の人口と世帯	8
・ 瀬谷区の人口・世帯数・1世帯当たり人員の推移	8
・ 区別平均年齢と年齢3区分別人口構成比	9
・ 瀬谷区の年齢3区分別人口及び構成比の推移	9
・ 瀬谷区の人口ピラミッド	9
・ 町別世帯及び年齢3区分別人口	10
・ 区別昼夜間人口比率	11
・ 瀬谷区昼夜間人口の推移	11
・ 通勤・通学者(15歳以上)の動き	11
・ 瀬谷区人口動態の推移	11
◇産業	
事業所	
・ 区別事業所数・従業者数	12
・ 瀬谷区産業別事業所数・従業者数	12
商業	
・ 区別事業所数・従業者数(卸売業・小売業)	13
・ 区別年間商品販売額(卸売業・小売業)及び売場面積(小売業のみ)	13
製造業	
・ 区別事業所数・従業者数(製造事業所)	14
・ 瀬谷区産業中分類別状況	14
農業	
・ 区別農家数・基幹的農業従事者数・経営耕地面積	15
・ 瀬谷区農家数・基幹的農業従事者数・経営耕地面積の推移	15
・ 年齢別の基幹的農業従事者数(個人経営体)の割合	15
◇生活環境	
公園・緑	
・ 区別公園数・公園面積等及び緑被率	16
・ 緑被率の推移	16
・ 瀬谷区の主な緑地	16
道路	
・ 道路延長・道路面積	17
交通	
・ 相模鉄道線の乗降車人員	17
・ 相模鉄道線の1日当たりの乗降車人員の推移	17
・ 瀬谷区自動車保有台数	17
ごみ・環境	
・ 瀬谷区ごみ収集状況	18
・ 瀬谷区微小粒子状物質(PM2.5)測定状況	18
・ 境川の水質	18
・ 瀬谷区公害問題苦情発生件数の推移	18
消防	
・ 瀬谷区火災発生件数の推移	19
・ 瀬谷区救急出場件数の推移	19
警察	
・ 瀬谷区内刑法犯認知件数の推移	19
・ 瀬谷区内交通事故発生状況の推移	19
・ 瀬谷区内運転免許保有者数	19
・ 瀬谷区内運転免許証自主返納者数の推移	19
防災	
・ 瀬谷区内地域防災拠点	20
◇住宅・建築	
・ 住宅の所有形態別世帯数の割合	21
・ 住宅の建て方別世帯数の割合	21
・ 瀬谷区建築確認申請受理件数の推移	21

◇教育・文化

教育

・ 瀬谷区内学校の概況	22
・ 瀬谷区内学校の在学・在園者数内訳	22
・ 瀬谷区内学校の在学・在園者数推移	23
・ 瀬谷区内高等学校卒業後の男女別進路状況	23

文化

・ 瀬谷区内市民利用施設利用者数	24
・ 瀬谷図書館蔵書冊数	24
・ 瀬谷図書館蔵書冊数・貸出冊数の推移	24

◇戸籍・市税

戸籍

・ 戸籍事務取扱件数	25
・ 住民基本台帳事務取扱件数	25
・ 瀬谷区地域・国籍別外国人人口	25
・ 瀬谷区外国人人口の推移	25

市税

・ 市税収入状況	26
・ 市税税目別収入	26
・ 市税税目別収入の推移(瀬谷区)	26

◇福祉

生活保護

・ 保護世帯数及び保護人員の推移	27
・ 瀬谷区生活保護世帯類型別の状況	27
・ 保護費支給額の構成比	27

高齢者福祉

・ 瀬谷区高齢者数及び高齢化率の推移	28
・ 瀬谷区高齢者在宅サービス実施状況	28

介護保険

・ 瀬谷区要介護認定者数の推移	28
・ 瀬谷区介護保険第1号被保険者数の推移	28

地域福祉

・ 瀬谷区シニアクラブ等の状況	29
・ 瀬谷区民生委員・児童委員活動状況	29
・ 高齢者に対する助成	29

障害者福祉

・ 瀬谷区障害者手帳所持者数	29
----------------	----

児童福祉

・ 瀬谷区保育所入所者数の推移	29
-----------------	----

国民年金

・ 瀬谷区国民年金被保険者数の推移	30
・ 瀬谷区国民年金受給者数の推移	30

国民健康保険・高齢者医療・医療費助成

・ 瀬谷区国民健康保険加入状況	30
・ 瀬谷区国民健康保険加入者数の推移	30
・ 瀬谷区後期高齢者医療制度加入者数及び医療費助成制度受給者数の推移	30

◇保健・衛生

保健

・ 医療施設の状況	31
・ 瀬谷区死因別死亡状況	31
・ 主要死因別死亡状況の推移	31
・ 瀬谷区乳幼児健診実施状況	31
・ 瀬谷区がん検診実施状況	31

衛生

・ 瀬谷区畜犬登録申請件数等の推移	32
・ 瀬谷区犬の苦情受付件数の推移	32
・ 瀬谷区猫の引取り頭数の推移	32
・ 食中毒発生件数及び患者数の推移	32
・ 瀬谷区食品関係苦情届出件数の推移	32
・ 瀬谷区ねずみ・衛生昆虫等の駆除相談件数の推移	32

◇選挙

・ 選挙人名簿登録者数	33
・ 在外選挙人名簿登録者数	33
・ 各選挙の投票率	33

◇統計

・ 主な基幹統計調査	35
------------	----

瀬谷区のあゆみ

明治元年（1868）	6月	瀬谷・宮沢・阿久和の三村は武蔵知県事の管轄に、二ツ橋村は韮山県に属し、同年12月に神奈川県に編入された
明治7年（1874）	6月	戸籍事務のための大区小区制施行、瀬谷地域は第17大区第6小区となった
明治22年（1889）	4月	横浜に市制が施行された 町村合併により瀬谷村（瀬谷・二ツ橋・宮沢）と中川村（阿久和・岡津ほか）が誕生した
明治23年（1890）	12月	阿久和給田町664に中川村役場新築開庁
大正5年（1916）	12月	瀬谷村役場が長天寺客殿より新庁舎（瀬谷2529）に移転した
大正12年（1923）	9月	関東大震災、瀬谷村で死者4人行方不明1人全壊戸数53戸
大正15年（1926）	5月	神中鉄道が二俣川・厚木間で営業開始 三ツ境、二ツ橋、瀬谷にそれぞれ停車場を設けた
戸塚区時代		
昭和14年（1939）	4月	現瀬谷区域が第6次横浜市拡張計画により横浜市に編入、戸塚区瀬谷出張所（瀬谷町2528）中川出張所（岡津町237）を設置した
昭和17年（1942）	6月	横浜市民として初めての市議会議員選挙が行われた
昭和19年（1944）	4月	相模鉄道（神中）が大和・瀬谷間に電気運転を開始した（同年5月瀬谷・三ツ境間開始）
昭和24年（1949）	5月	瀬谷消防出張所を瀬谷町 2590 の 1 に設置した
昭和26年（1951）	3月	横浜市農業指導所を二ツ橋町190に設置した
昭和32年（1957）	7月	横浜市水道局瀬谷詰所を瀬谷町1669に設置した
昭和37年（1962）	5月	阿久和町の一部を三ツ境とした
昭和39年（1964）	4月	瀬谷出張所が戸塚区役所瀬谷支所に昇格
瀬谷区時代		
昭和44年（1969）	10月	横浜市行政区再編成により瀬谷支所管内に阿久和町及び新橋町の一部を加えて瀬谷区を設置した（面積 16.92 km ² 世帯数 20,318 人口 71,733 人）
昭和46年（1971）	6月	瀬谷区総合庁舎が二ツ橋町190に完成
	7月	瀬谷公会堂が開館

昭和49年（1974）	4月	瀬谷区民会議が発足
昭和51年（1976）	4月	瀬谷市民の森がオープン
昭和52年（1977）	3月	瀬谷区休日急患診療所が開設
昭和53年（1978）	7月	区の人口推計が10万人を突破
昭和54年（1979）	10月	瀬谷区制10周年記念誌発刊
	11月	瀬谷区制10周年記念式典を挙行
昭和55年（1980）	11月	瀬谷センターが開館
昭和59年（1984）	10月	瀬谷区制15周年記念式典を挙行（瀬谷区の花・木・鳥を制定、記念像の建立、記念誌の発刊）
昭和60年（1985）	1月	瀬谷図書館が開館
	6月	瀬谷中央公園が開園
昭和61年（1986）	10月	三ツ境駅北口周辺整備が完了
昭和62年（1987）	11月	瀬谷スポーツセンターがオープン
昭和63年（1988）	4月	丸子中山茅ヶ崎線（南台入口～国道16号間）が4車線整備
	8月	瀬谷区のシンボルマークを制定
平成元年（1989）	9月	瀬谷区制20周年記念式典を挙行
平成 2年（1990）	12月	区の推計人口が12万人を突破
平成 3年（1991）	4月	下瀬谷小学校（現 瀬谷さくら小学校）コミュニティ・スクールが開設
	12月	ニツ橋在宅支援サービスセンター（現 ニツ橋地域ケアプラザ）が開館
平成 4年（1992）	6月	長屋門公園歴史体験ゾーンがオープン
平成 5年（1993）	5月	瀬谷中央公園内にこどもログハウス「まるたのしろ」がオープン
平成 6年（1994）	10月	瀬谷区制25周年記念式典を挙行
	11月	宮沢ふれあい樹林、東山ふれあい樹林がオープン

平成 7年（1995）	4月	南瀬谷小学校コミュニティ・スクールが開設
	5月	瀬谷区地域防災拠点指定（小学校12、中学校3）
平成 8年（1996）	3月	阿久和地区センター・阿久和地域ケアプラザが開館
		瀬谷町小川アメニティ事業完成
	7月	和泉川「東山の水辺」オープン
	12月	和泉川「関ヶ原の水辺」オープン
平成10年（1998）	3月	相沢雨水調整池完成
	11月	和泉川「ニツ橋の水辺」オープン
平成11年（1999）	8月	中屋敷地区センター・中屋敷地域ケアプラザが開館
	10月	瀬谷区制30周年記念式典を挙行
平成12年（2000）	3月	瀬谷駅北地区土地区画整理事業が完了
	12月	環状4号線（日向山から横浜厚木線まで）の供用開始
平成13年（2001）	8月	下瀬谷地域ケアプラザが開館
平成14年（2002）	1月	瀬谷区のマスコットキャラクター「せやまる」を制定
	4月	相沢川親水空間（南台こどものもり公園付近）オープン
	5月	瀬谷本郷公園が一部開園
	11月	瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」が開設
平成15年（2003）	4月	相沢川親水空間（現 瀬谷さくら小学校付近）オープン
平成16年（2004）	3月	瀬谷駅南北自由通路が開設
	5月	東野中学校コミュニティ・スクールが開設

平成17年（2005）	4月	瀬谷区民活動センターが開設
		環状4号線瀬谷跨線橋が開通
	7月	瀬谷駅区民窓口サービスセンターが開設
平成18年（2006）	1月	原中学校コミュニティ・スクールが開設
	3月	和泉川「宮沢遊水地」オープン
平成19年（2007）	1月	瀬谷区連合町内会が第11回防災まちづくり大賞（総務省主催）を受賞
	3月	三ツ境駅周辺地区交通バリアフリー基本構想作成
平成20年（2008）	2月	水と緑の健康ウォーク事業が（財）日本公衆衛生協会の衛生教育奨励賞を受賞
	10月	南瀬谷高齢者支援拠点「あって～南瀬谷」が開所
平成21年（2009）	10月	瀬谷区制40周年記念式典を挙行
平成22年（2010）	4月	瀬谷区証明発行センターが開設
	11月	現在の瀬谷公会堂が開館
平成23年（2011）	4月	せやまる・ふれあい館が開館
平成24年（2012）	2月	現在の瀬谷区総合庁舎が完成
平成25年（2013）	1月	瀬谷区証明発行センターが移転
	3月	和泉川「宮沢ふれあいの水辺」オープン
	4月	現在の瀬谷区総合庁舎駐車場が完成
	6月	二ツ橋公園自由広場の芝生化終了をもって4年にわたる瀬谷区総合庁舎整備事業が終了 阿久和向原第二公園の地域見守り拠点「見守りの家」完成
平成26年（2014）	4月	日米合同委員会において上瀬谷通信施設の平成27年6月末までの返還が承認
	7月	瀬谷区地域福祉交流拠点「ぼかぼかプラザ」開設
	8月	瀬谷駅北口駅前広場民設民営駐輪場オープン

平成27年（2015）	6月	上瀬谷通信施設が返還
平成28年（2016）	3月	都市計画道路環状4号線（上瀬谷地区）が開通
平成29年（2017）	3月	瀬谷区証明発行センターが廃止
	4月	横浜市多機能型拠点「こまち」が開所
平成30年（2018）	3月	瀬谷団地連絡道路が開通
	4月	瀬谷みはらし公園が開園
	10月	細谷戸地域コミュニティ活動拠点「おあしす102」が開所
平成31年（2019）	4月	瀬谷区休日急患診療所が二ツ橋町に移転
令和元年（2019）	9月	国際園芸家協会（AIPH）において、2027年国際園芸博覧会の開催申請が承認
	10月	瀬谷区制50周年記念式典を挙行
	11月	相鉄・JR直通線が開業
令和2年（2020）	3月	瀬谷区制50周年記念誌発刊
	4月	瀬谷本郷公園の拡張エリアが開園
		阿久和富士見小金台公園が開園
令和4年（2022）	3月	相沢第二雨水幹線の全線供用が開始
		瀬谷区民文化センター「あじさいプラザ」がオープン
	11月	博覧会国際事務局（BIE）において、2027年国際園芸博覧会が国際博覧会として認定
令和5年（2023）	1月	旧上瀬谷通信施設地区 既存米軍施設解体工事に着手
	3月	相鉄・東急直通線（相鉄新横浜線及び東急新横浜線）が開業

地 勢

●瀬谷区的位置



※国土地理院が公表する全国都道府県市区町村別面積調によるもので、P7「地勢」の町別面積の合計とは一致しません。

●広ぼう及び最高地（令和5年4月1日現在）

	広 ぼう				最 高 地	
	極東地名	極西地名	極南地名	極北地名	地 名	海面からの高度 (m)
全 市	鶴見区 扇島	瀬谷区 目黒町	金沢区 六浦南四丁目	青葉区 美しが丘西二丁目	栄区 上郷町	159.4
瀬谷区	阿久和南一丁目	目黒町	阿久和南三丁目	北町	東野台	90.9

●瀬谷区都市計画区域及び用途地域面積（令和4年度末）

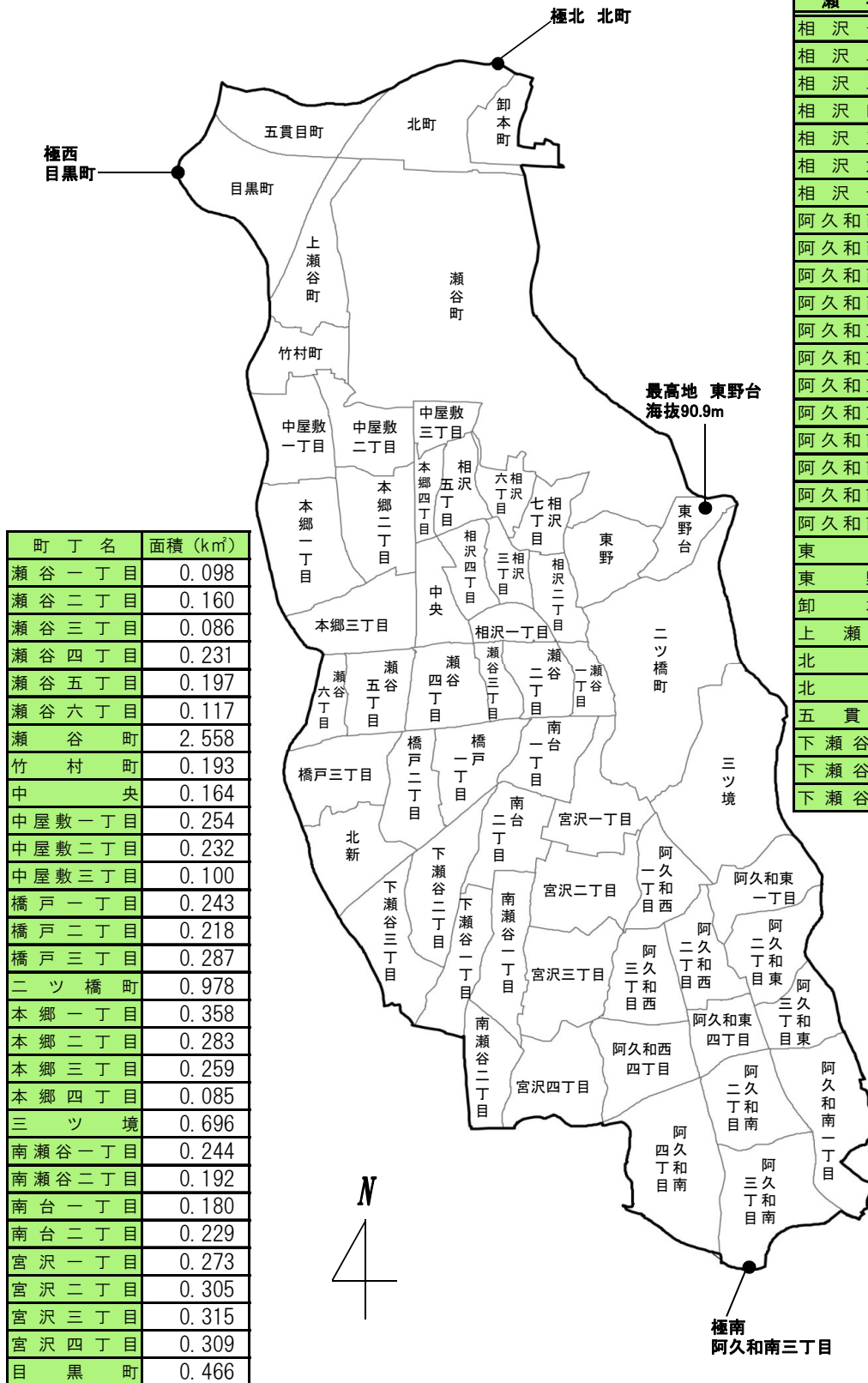
(単位:km²)

都市計画区域			用途地域			
総面積	市街化区域	市街化調整区域	総面積	住居系	商業系	工業系
17.1	11.9	5.3	11.9	10.2	0.6	1.3

資料:横浜市統計書

地 勢

●瀬谷区の町名



町 丁 名	面積 (km ²)
瀬 谷 一 丁 目	0.098
瀬 谷 二 丁 目	0.160
瀬 谷 三 丁 目	0.086
瀬 谷 四 丁 目	0.231
瀬 谷 五 丁 目	0.197
瀬 谷 六 丁 目	0.117
瀬 谷 町	2.558
竹 村 町	0.193
中 央	0.164
中 屋 敷 一 丁 目	0.254
中 屋 敷 二 丁 目	0.232
中 屋 敷 三 丁 目	0.100
橋 戸 一 丁 目	0.243
橋 戸 二 丁 目	0.218
橋 戸 三 丁 目	0.287
二 ツ 橋 町	0.978
本 郷 一 丁 目	0.358
本 郷 二 丁 目	0.283
本 郷 三 丁 目	0.259
本 郷 四 丁 目	0.085
三 ツ 境	0.696
南 瀬 谷 一 丁 目	0.244
南 瀬 谷 二 丁 目	0.192
南 台 一 丁 目	0.180
南 台 二 丁 目	0.229
宮 沢 一 丁 目	0.273
宮 沢 二 丁 目	0.305
宮 沢 三 丁 目	0.315
宮 沢 四 丁 目	0.309
目 黒 町	0.466

●町丁別面積

町 丁 名	面積 (km ²)
瀬 谷 区	17.106
相 沢 一 丁 目	0.103
相 沢 二 丁 目	0.143
相 沢 三 丁 目	0.110
相 沢 四 丁 目	0.137
相 沢 五 丁 目	0.142
相 沢 六 丁 目	0.118
相 沢 七 丁 目	0.143
阿 久 和 西 一 丁 目	0.195
阿 久 和 西 二 丁 目	0.204
阿 久 和 西 三 丁 目	0.240
阿 久 和 西 四 丁 目	0.274
阿 久 和 東 一 丁 目	0.239
阿 久 和 東 二 丁 目	0.257
阿 久 和 東 三 丁 目	0.183
阿 久 和 東 四 丁 目	0.162
阿 久 和 南 一 丁 目	0.398
阿 久 和 南 二 丁 目	0.269
阿 久 和 南 三 丁 目	0.384
阿 久 和 南 四 丁 目	0.483
東 野	0.233
東 野 台	0.149
卸 本 町	0.179
上 瀬 谷 町	0.290
北 新	0.269
北 町	0.440
五 貫 目 町	0.283
下 瀬 谷 一 丁 目	0.218
下 瀬 谷 二 丁 目	0.272
下 瀬 谷 三 丁 目	0.279

資料：横浜市町区域要覧

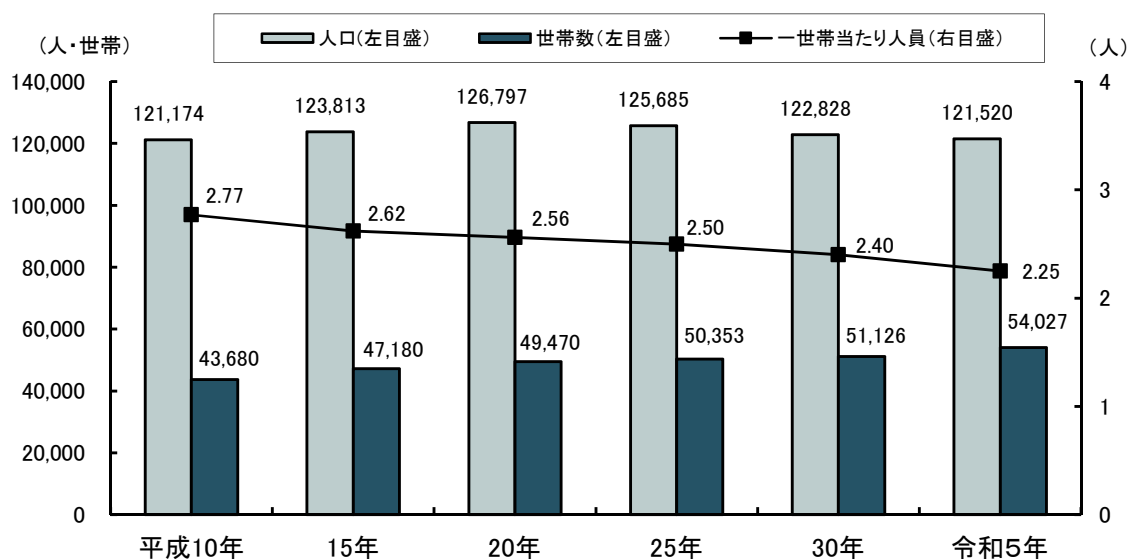
人口

●区別の人口と世帯 (令和5年10月1日現在)

区名	面積(km ²)	世帯数(世帯)	人口(人)			1世帯当たり人員(人)	人口密度(人/km ²)
			総数	男	女		
横浜市	438.01	1,799,480	3,771,766	1,859,345	1,912,421	2.10	8,611
鶴見区	33.22	148,526	295,863	152,703	143,160	1.99	8,906
神奈川区	23.73	133,749	249,773	127,038	122,735	1.87	10,526
西区	7.03	59,228	106,417	53,846	52,571	1.80	15,138
中区	21.74	87,497	151,931	77,046	74,885	1.74	6,989
南区	12.65	107,869	198,934	99,243	99,691	1.84	15,726
港南区	19.90	97,504	213,805	103,849	109,956	2.19	10,744
保土ヶ谷区	21.93	100,982	205,790	100,833	104,957	2.04	9,384
旭区	32.73	108,396	241,767	116,239	125,528	2.23	7,387
磯子区	19.05	79,912	165,196	81,199	83,997	2.07	8,672
金沢区	30.96	90,936	195,201	94,607	100,594	2.15	6,305
港北区	31.40	181,173	363,097	180,834	182,263	2.00	11,564
緑区	25.51	81,666	182,981	89,825	93,156	2.24	7,173
青葉区	35.22	135,860	309,399	149,023	160,376	2.28	8,785
都筑区	27.87	88,252	215,267	105,225	110,042	2.44	7,724
戸塚区	35.79	125,372	283,190	137,823	145,367	2.26	7,913
栄区	18.52	54,395	120,821	58,568	62,253	2.22	6,524
泉区	23.58	64,136	150,814	72,868	77,946	2.35	6,396
瀬谷区	17.17	54,027	121,520	58,576	62,944	2.25	7,077

※世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果(確定値)を基礎とし、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加減した推計数。
 ※市域面積は、令和5年全国都道府県市区町村別面積調(令和5年7月1日時点)を使用しています。

●瀬谷区の人口・世帯数・1世帯当たり人員の推移 (各年10月1日現在)



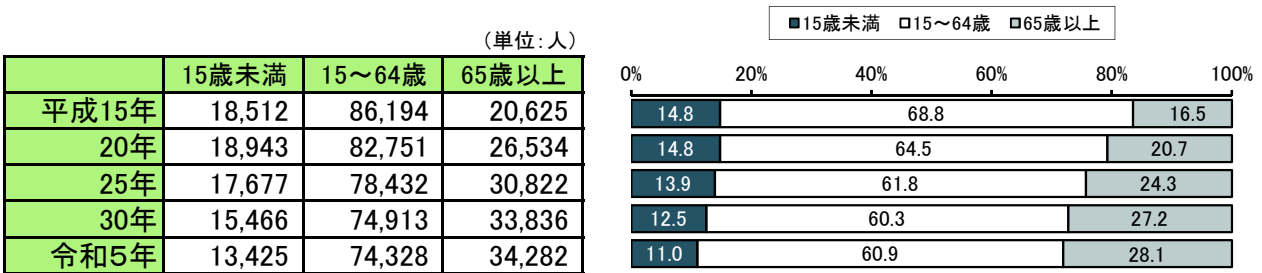
人 口

● 区別平均年齢と年齢3区分別人口構成比 (令和5年9月30日現在)

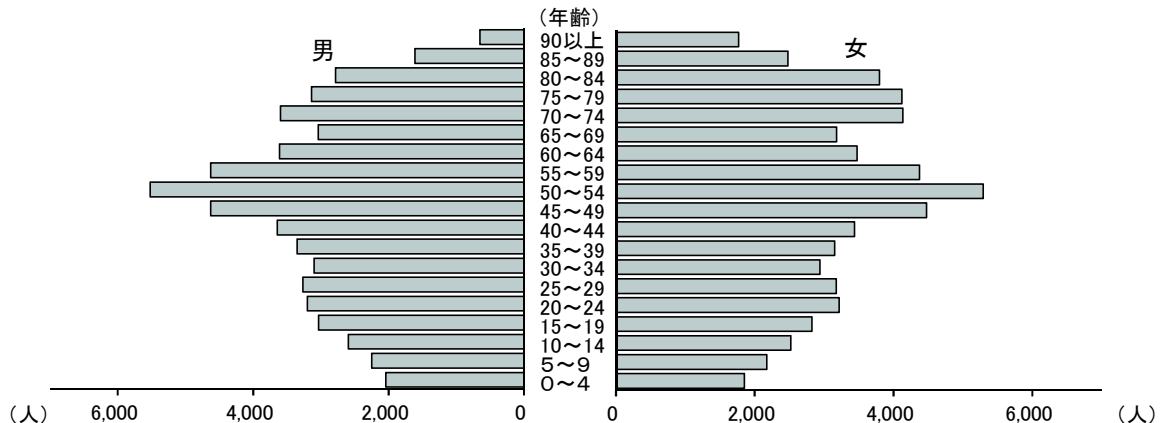
区名	平均年齢(歳)			年齢3区分別人口構成比(%)			
	全体	男	女	年少人口	生産年齢人口	老年人口	
				15歳未満	15~64歳	65歳以上	(内75歳以上)
横浜市	46.9	45.7	48.1	11.4	63.6	25.0	14.1
鶴見区	45.0	44.0	46.2	11.9	66.6	21.6	11.5
神奈川区	45.4	44.1	46.6	10.9	67.2	21.9	12.0
西区	44.7	43.5	45.8	10.7	69.8	19.5	10.6
中区	47.6	47.3	48.0	9.6	66.8	23.6	12.4
南区	48.1	46.9	49.3	9.3	64.0	26.8	14.8
港南区	49.0	47.6	50.4	10.9	60.1	29.0	17.1
保土ヶ谷区	47.9	46.3	49.4	10.5	62.8	26.7	15.2
旭区	49.2	47.6	50.6	11.1	59.3	29.7	17.5
磯子区	48.4	46.8	49.9	11.2	60.8	27.9	15.9
金沢区	49.6	48.2	51.0	10.3	58.9	30.8	17.3
港北区	44.3	43.1	45.4	12.2	67.8	20.0	10.9
緑区	46.3	45.2	47.5	12.3	63.2	24.5	13.9
青葉区	46.2	45.1	47.2	12.3	64.8	22.9	12.4
都筑区	43.8	42.9	44.7	14.1	67.2	18.7	10.0
戸塚区	47.0	45.7	48.2	12.4	61.7	25.9	14.9
栄区	49.6	48.3	50.9	10.8	58.4	30.8	19.1
泉区	48.8	47.5	50.0	11.3	59.7	29.0	17.0
瀬谷区	48.3	46.8	49.8	11.0	60.9	28.1	16.7

※住民基本台帳に記載された人口です。

● 瀬谷区の年齢3区分別人口及び構成比の推移 (各年9月30日現在)

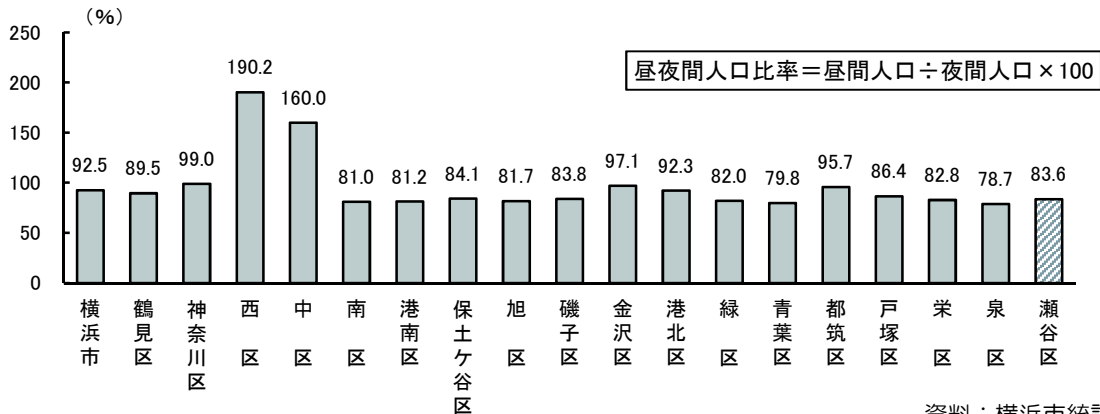


● 瀬谷区の人口ピラミッド (令和5年9月30日現在)



人口

● 区別昼夜間人口比率 (令和2年国勢調査)



資料：横浜市統計書

● 瀬谷区昼夜間人口の推移 (各年国勢調査)

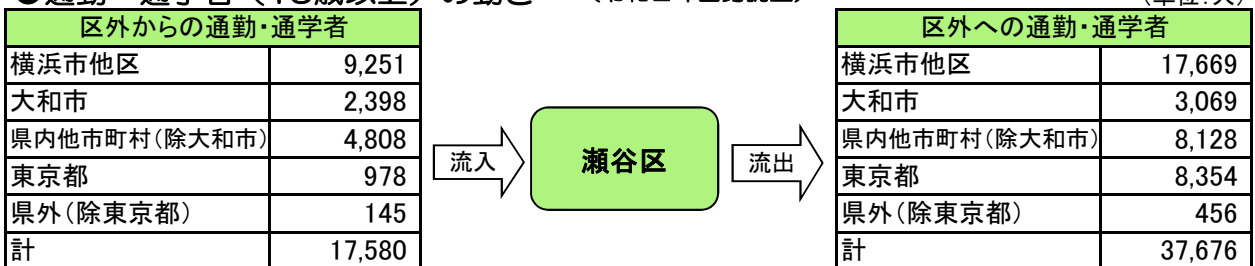
	常住人口(A) (夜間人口)	流入人口(B)	流出人口(C)	昼間人口(D) =(A)+(B)-(C)	昼夜間人口比率 =(D)÷(A)
昭和60年	111,251	15,223	43,969	82,505	74.2
平成2年	119,080	18,456	51,296	86,240	72.4
7年	121,471	19,642	51,350	89,763	73.9
12年	121,663	18,423	47,612	92,474	76.0
17年	127,328	18,277	47,311	98,294	77.2
22年	126,913	19,282	41,937	104,258	82.1
27年	124,560	18,940	39,318	104,182	83.6
令和2年	122,623	17,903	38,009	102,517	83.6

流入人口：区外からの通勤・通学者数

流出人口：区外への通勤・通学者数

資料：横浜市統計書

● 通勤・通学者(15歳以上)の動き (令和2年国勢調査)



資料：横浜市統計書

● 瀬谷区人口動態の推移 (単位:人)

	平成29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
社会増減	△ 180	△ 421	△ 10	141	266	350	783
転入	5,102	5,037	4,819	5,033	4,875	5,020	5,801
転出	5,328	5,468	4,887	4,947	4,654	4,679	5,035
その他	46	10	58	55	45	9	17
自然増減	△ 472	△ 459	△ 497	△ 537	△ 690	△ 761	△ 828
出生	798	840	710	772	656	660	738
死亡	1,270	1,299	1,207	1,309	1,346	1,421	1,566
人口増減	△ 652	△ 880	△ 507	△ 396	△ 424	△ 411	△ 45

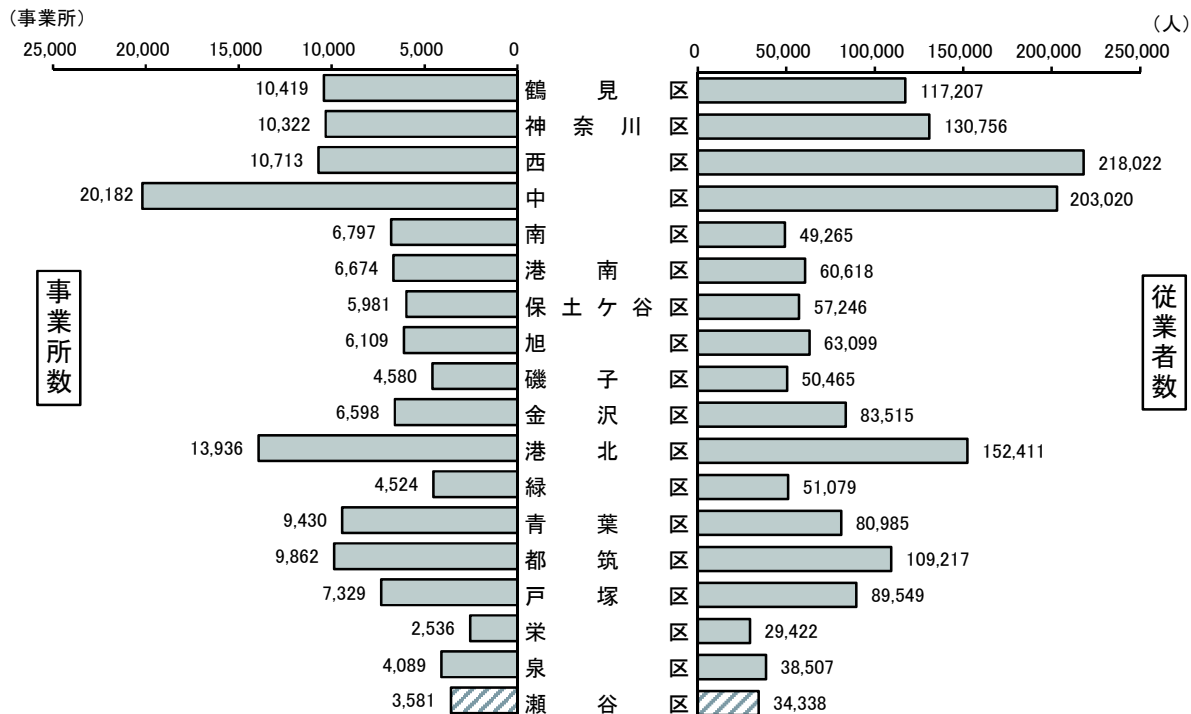
資料：横浜市統計書

産 業

事業所

● 区別事業所数・従業者数 (令和3年経済センサス-活動調査)

※事業所数は事業内容等不詳のものを含みます。



● 瀬谷区産業別事業所数・従業者数 (令和3年経済センサス-活動調査 ※速報集計)

	事業所		従業者	
	事業所数	割合 (%)	人数(人)	割合 (%)
農 林 漁 業	8	0.26	50	0.15
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	0	0
建設業	475	15.35	2,800	8.39
製造業	138	4.46	1,893	5.67
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.03	71	0.21
情報通信業	30	0.97	124	0.37
運輸業, 郵便業	96	3.10	3,310	9.92
卸売業, 小売業	660	21.33	7,159	21.45
金融業, 保険業	30	0.97	341	1.02
不動産業, 物品賃貸業	284	9.18	1,162	3.48
学術研究, 専門・技術サービス業	109	3.52	578	1.73
宿泊業, 飲食サービス業	261	8.44	2,353	7.05
生活関連サービス業, 娯楽業	248	8.02	1,224	3.67
教育, 学習支援業	143	4.62	2,629	7.88
医療, 福祉	417	13.48	7,019	21.03
複合サービス事業	15	0.48	133	0.40
サービス業(他に分類されないもの)	170	5.49	1,804	5.41
公務(他に分類されるものを除く)※	9	0.29	723	2.17
合 計	3,094	100	33,373	100

※令和3年経済センサス-活動調査より「公務(他に分類されるものを除く)」の項目が追加されました。

ビルくんとケイちゃん



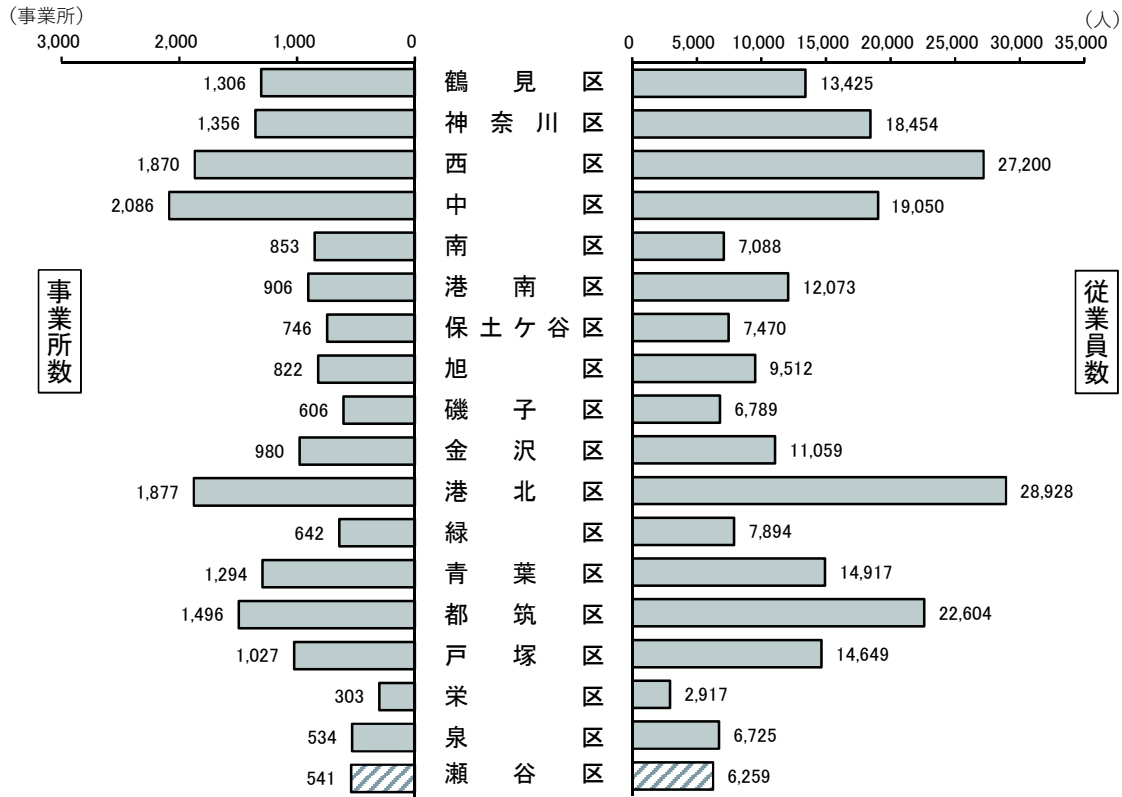
産 業

商 業

※統計調査の統合・再編に伴い、本年より参照元を商業統計調査から経済センサス活動調査に変更しました。

● 区別事業所数・従業者数（卸売業・小売業）

（令和3年経済センサス - 活動調査）



● 区別年間商品販売額（卸売業・小売業）及び売場面積（小売業のみ）

（令和3年経済センサス - 活動調査）

区名	卸売業		小売業	
	年間商品販売額(百万円)	年間商品販売額(百万円)	年間商品販売額(百万円)	売場面積(m ²)
鶴見区	371,554	211,920	143,631	
神奈川区	1,200,224	210,632	96,018	
西区	1,072,091	543,114	373,361	
中区	777,298	324,504	189,296	
南区	64,552	98,026	67,652	
港南区	65,451	238,867	196,264	
保土ヶ谷区	169,377	125,601	60,836	
旭区	54,699	161,438	139,635	
磯子区	61,562	93,885	76,314	
金沢区	240,279	189,782	135,369	
港北区	1,281,196	317,662	218,936	
緑区	132,333	140,237	114,243	
青葉区	111,340	281,107	214,839	
都筑区	605,493	367,952	291,839	
戸塚区	501,109	272,840	237,408	
栄区	21,912	50,746	32,904	
泉区	43,860	119,483	94,894	
瀬谷区	101,485	98,351	73,402	

産 業

製造業

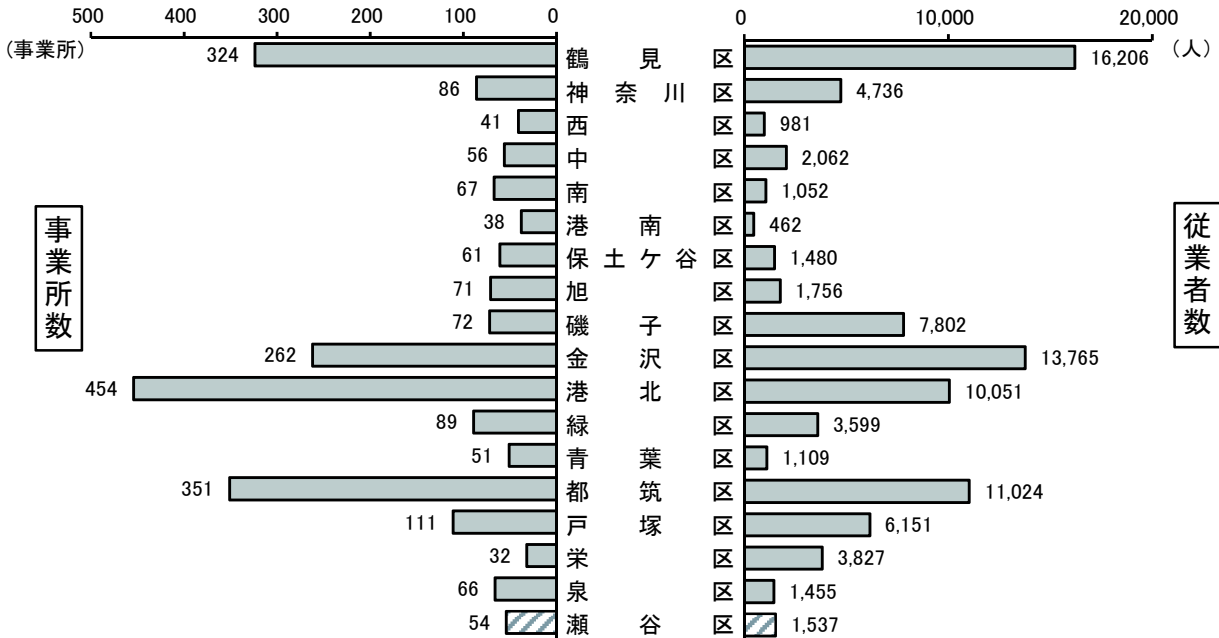
※統計調査の統合・再編に伴い、本年より参照元を工業統計調査から経済センサス活動調査に変更しました。

● 区別事業所数・従業者数（製造事業所）

（令和3年経済センサス - 活動調査）

※以下の4つの要件に該当する製造事業所について集計

「個人経営を除く」、「従業者が4人以上」、「管理、補助的経済活動のみを行う事業所ではない」、「製造品目別に出荷額が得られた事業所」



● 瀬谷区産業中分類別状況（令和3年経済センサス - 活動調査）

※以下の4つの要件に該当する製造事業所について集計

「個人経営を除く」、「従業者が4人以上」、「管理、補助的経済活動のみを行う事業所ではない」、「製造品目別に出荷額が得られた事業所」

	事業所数	従事者数	人件費※1	原料費※2	製造品出荷額等	粗付加価値額
食料品	3	39	20,593	21,243	101,781	74,628
繊維工業	1	20	X	X	X	X
家具・装備品	2	34	X	X	X	X
パルプ・紙・紙加工品	3	18	4,642	54,324	63,088	7,966
印刷・同関連業	5	262	150,757	211,117	648,835	402,816
化学工業	2	23	X	X	X	X
石油製品・石炭製品	3	24	13,941	125,712	197,299	65,078
プラスチック製品※3	5	68	19,006	25,870	60,737	31,717
窯業・土石製品	3	55	31,634	194,064	318,891	114,108
金属製品	8	121	52,665	148,088	277,919	120,417
はん用機械器具	3	63	26,148	18,676	45,110	24,315
生産用機械器具	7	108	41,182	49,375	123,033	67,135
電子部品・デバイス・電子回路	2	65	X	X	X	X
電気機械器具	2	473	X	X	X	X
情報通信機械器具	1	107	X	X	X	X
輸送用機械器具	2	34	X	X	X	X
その他	2	23	X	X	X	X
合計	54	1,537	827,172	2,035,956	3,648,589	1,480,223

※1「人件費」は、事業に従事する者の人件費及び派遣受入者に係る人材派遣会社への支払額

(単位:万円)

※2「原料費」は、原材料・燃料・電力の使用額等

※3「インフレーション成形加工」と「強化プラスチック成形加工」の製品は対象に含まれていません。

※「飲料・たばこ・飼料」「木材・木製品(家具を除く)」「ゴム製品」「なめし革・同製品・毛皮」「非鉄金属」「業務用機械器具」製造業及び「鉄鋼業」について、瀬谷区では該当はありません。

産 業

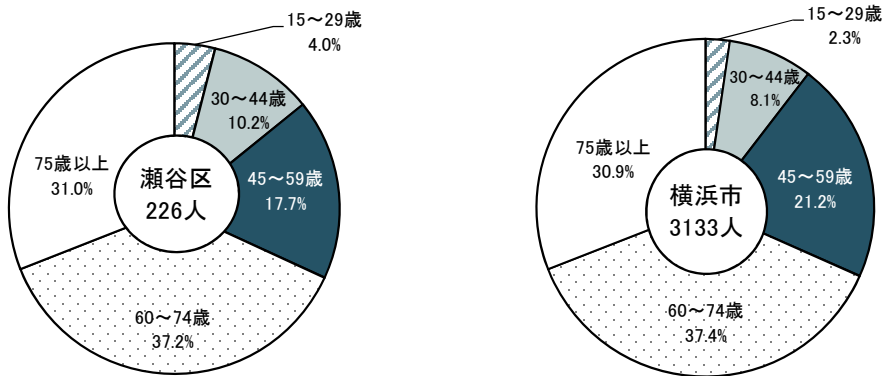
農 業

● 区別農家数・基幹的農業従事者数・経営耕地面積 (2020年農林業センサス)

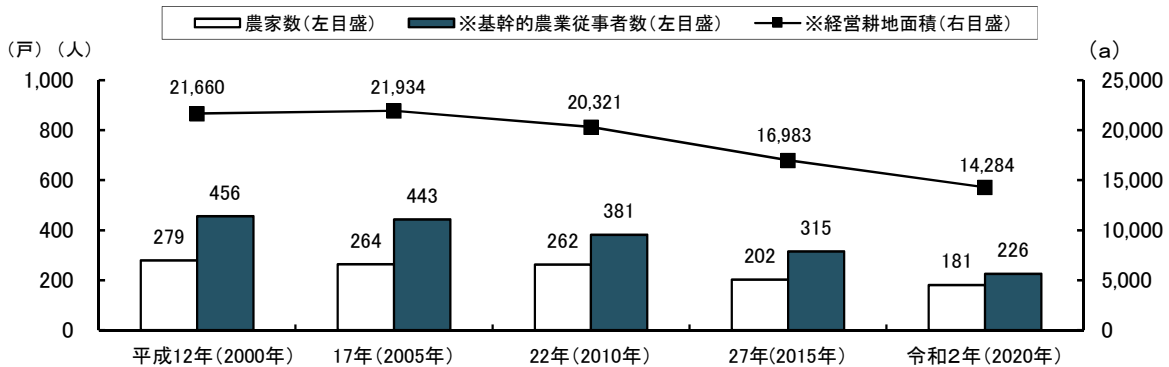
区 名	農家数(戸)			基幹的農業従事者数(人)	経営耕地面積(a)
	販売農家	自給的農家	計		
横浜市	1,770	1,286	3,056	3,133	167,451
鶴見区	15	27	42	32	2,997
神奈川区	118	30	148	233	11,834
西区	0	0	0	X	0
中区	0	1	1	0	X
南区	7	2	9	X	X
港南区	36	28	64	61	2,056
保土ヶ谷区	74	32	106	153	6,358
旭区	110	128	238	148	10,333
磯子区	14	10	24	29	564
金沢区	25	30	55	35	1,458
港北区	201	122	323	384	16,045
緑区	202	122	324	349	19,171
青葉区	167	225	392	272	16,823
都筑区	235	186	421	418	20,045
戸塚区	158	114	272	282	16,233
栄区	43	58	101	88	3,798
泉区	227	128	355	414	24,734
瀬谷区	138	43	181	226	14,775

※「農家数」および「経営耕地面積」は総農家の数値、「基幹的農業従事者数」は農業経営体のうち個人経営体の数値です。

● 年齢別の基幹的農業従事者数(個人経営体)の割合 (2020年農林業センサス)



● 瀬谷区農家数・基幹的農業従事者数・経営耕地面積の推移 (各年農林業センサス)



※「基幹的農業従事者数」は個人経営体における集計値で、平成12年から平成27年調査までは販売農家における「農業就業人口」の数値を掲載しています。

※「経営耕地面積」は農業経営体における集計値で、平成12年から平成27年調査までは総農家における経営耕地面積を掲載しています。

生活環境

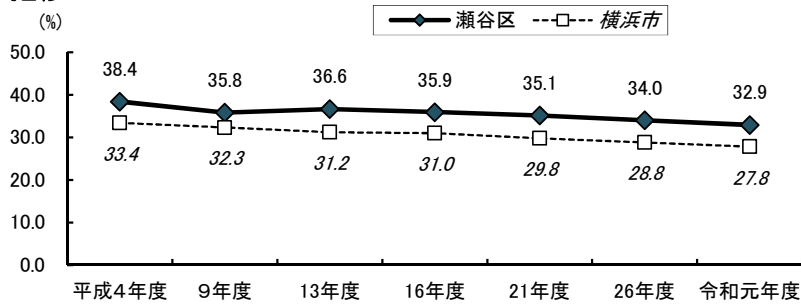
公園・緑

● 区別公園数・公園面積等及び緑被率

区名	公園(令和4年度末)				緑被率 (令和元年度調査)
	公園数	公園面積(ha)	区民1人当たり 公園面積(m ²)※	区域面積に占め る公園の割合 ※	
横浜市	2,719	1,866.4	5.0	4.3%	27.8
鶴見区	146	81.9	2.8	2.5%	12.7
神奈川区	156	85.4	3.4	3.6%	21.4
西区	50	28.0	2.6	4.0%	11.3
中区	90	101.1	6.7	4.7%	13.4
南区	131	43.0	2.2	3.4%	14.1
港南区	184	80.1	3.7	4.0%	21.1
保土ヶ谷区	168	99.2	4.8	4.5%	29.4
旭区	203	186.4	7.7	5.7%	33.9
磯子区	122	45.7	2.8	2.4%	26.6
金沢区	209	296.4	15.2	9.6%	31.0
港北区	168	145.1	4.0	4.6%	24.1
緑区	153	125.8	6.9	4.9%	40.6
青葉区	234	102.6	3.3	2.9%	28.8
都筑区	142	162.3	7.6	5.8%	30.0
戸塚区	231	133.5	4.7	3.7%	35.0
栄区	130	70.9	5.9	3.8%	38.8
泉区	101	37.9	2.5	1.6%	36.3
瀬谷区	101	41.1	3.4	2.4%	32.9

資料：横浜市統計書（※は瀬谷区で算出）
（緑被率は環境創造局）

● 緑被率の推移



緑被率：緑の総量を把握する方法の一つで、航空写真によって上空から見たときの緑におおわれている土地の割合です。
なお、調査年度によって調査手法や精度が異なるため、概ねの傾向を示したものです。

● 瀬谷区の主な緑地 (令和5年3月末現在)

緑地名称	指定年月	指定面積(ha)	指定場所	備考
瀬谷市民の森	昭和50年12月	19.2	瀬谷町・東野台・東野	
東山ふれあい樹林	平成4年4月	1.8	宮沢二丁目	
宮沢ふれあい樹林	平成4年11月	2.4	宮沢一丁目	
宮沢・蟹沢特別緑地保全地区	平成5年4月	2.0	宮沢三丁目	
東山特別緑地保全地区	平成15年11月	1.8	宮沢二丁目	東山ふれあい樹林と全域重複指定
宮沢特別緑地保全地区	平成17年10月	2.2	宮沢一丁目	うち2.1haは宮沢ふれあい樹林と重複指定
阿久和南一丁目特別緑地保全地区	平成26年12月	1.3	阿久和南一丁目	
本郷三丁目特別緑地保全地区	平成27年9月	0.3	本郷二丁目・本郷三丁目	
宮沢三丁目特別緑地保全地区	平成29年2月	0.3	宮沢三丁目・阿久和西三丁目	
阿久和南一丁目藤ヶ谷特別緑地保全地区	令和2年7月	0.5	阿久和南一丁目	

資料：環境創造局

生活環境

道路

●道路延長・道路面積（令和5年4月1日現在）

区分	道路延長			道路面積			
	道路延長 (m)	舗装延長 (m)	舗装延長率 (%)	道路面積 (㎡)	舗装面積 (㎡)	道路率※ (%)	
横浜市	国道	119,528	119,528	100.0	2,862,567	2,862,567	/
	県道	200,139	200,139	100.0	3,037,730	3,037,730	
	市道	7,431,386	7,303,399	98.3	48,928,742	48,516,480	
	有料道路	124,215	124,215	100.0	3,917,585	3,917,585	
	計	7,875,268	7,747,281	98.4	58,746,624	58,334,362	
瀬谷区	国道	780	780	100.0	31,660	31,660	/
	県道	16,735	16,735	100.0	216,168	216,168	
	市道	287,186	273,971	95.4	1,595,015	1,554,186	
	有料道路	1,428	1,428	100.0	44,890	44,890	
	計	306,129	292,914	95.7	1,887,733	1,846,904	

※道路率：行政区面積に対する道路面積の割合

資料：横浜市統計書

交通

●相模鉄道線の乗降車人員（令和4年度）

（単位：千人）

	乗車人員			降車人員		
	総数	定期	定期外	総数	定期	定期外
横浜駅	60,168	39,348	20,820	60,001	39,348	20,653
二俣川駅	13,259	7,049	6,210	13,351	7,049	6,303
三ツ境駅	8,934	5,577	3,357	9,015	5,577	3,439
瀬谷駅	6,916	4,345	2,571	6,868	4,345	2,523

※1千人未満を四捨五入しているため、内訳の計と総数が一致しない場合があります

資料：横浜市統計書

●相模鉄道線の1日当たりの乗降車人員の推移

（単位：人）

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
横浜駅	428,218	429,114	422,487	296,147	305,183	329,228
二俣川駅	78,524	82,853	82,716	64,325	68,149	72,905
三ツ境駅	58,905	58,418	57,884	44,123	46,531	49,177
瀬谷駅	44,491	44,738	44,195	34,150	35,684	37,765

資料：横浜市統計書

●瀬谷区自動車保有台数（令和4年度末）

（単位：台）

総数	登録自動車					小型二輪	軽自動車	
	貨物用	乗合用	乗用	特殊用途	大型特殊		軽四輪	軽二輪
59,044	5,079	148	33,074	1,388	150	2,108	14,831	2,266

資料：横浜市統計書

※軽四輪の数値は「市税賦課額調」の次年度当初の軽四輪乗用と軽四輪貨物用を合計（営業用は事業用として計上）したものです。

※軽二輪の数値は「市税賦課額調」の次年度当初の軽二輪と軽三輪を合計したものです。

生活環境

ごみ・環境

●瀬谷区ごみ収集状況

(単位:トン)

	総量	ごみ量	資源化量 (行政回収)	資源化量 (集団回収)
平成30年度	26,906	19,335	3,375	4,196
令和元年度	27,020	19,653	3,381	3,986
2年度	27,869	20,209	3,559	4,101
3年度	26,821	19,466	3,498	3,857
4年度	26,052	19,045	3,356	3,651

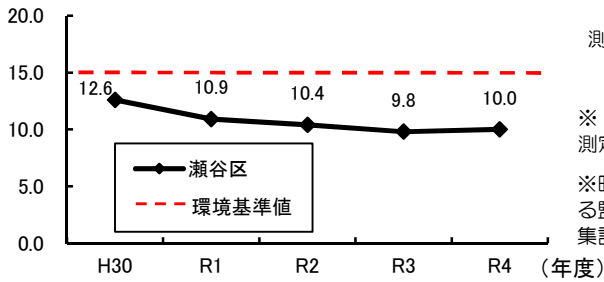
資料：資源循環局



横浜市資源循環局マスコット イーオ

●瀬谷区微小粒子状物質(PM2.5)測定状況(年平均値)

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



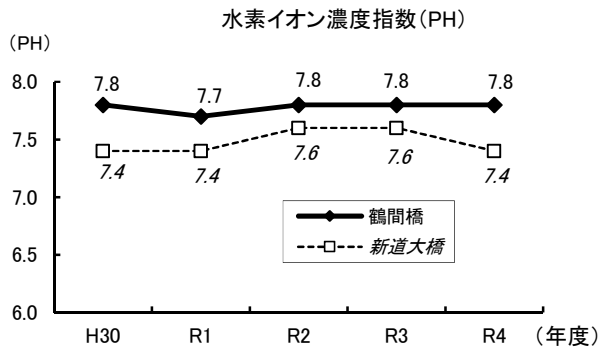
測定地点：南瀬谷小学校

※「年平均値」は、欠測日を除いた年間の日平均値の総和を年間の有効測定日数で除した値です。

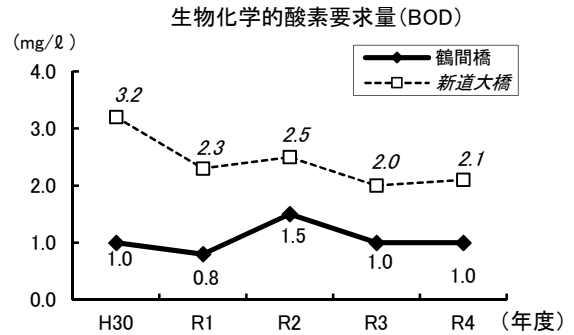
※昨年まで「二酸化窒素等測定状況」を取り上げていましたが、さらなる監視体制の整備が進み、関心度の高い「微小粒子状物質(PM2.5)」を集計対象に変更しました。

資料：横浜市統計書

●境川の水質



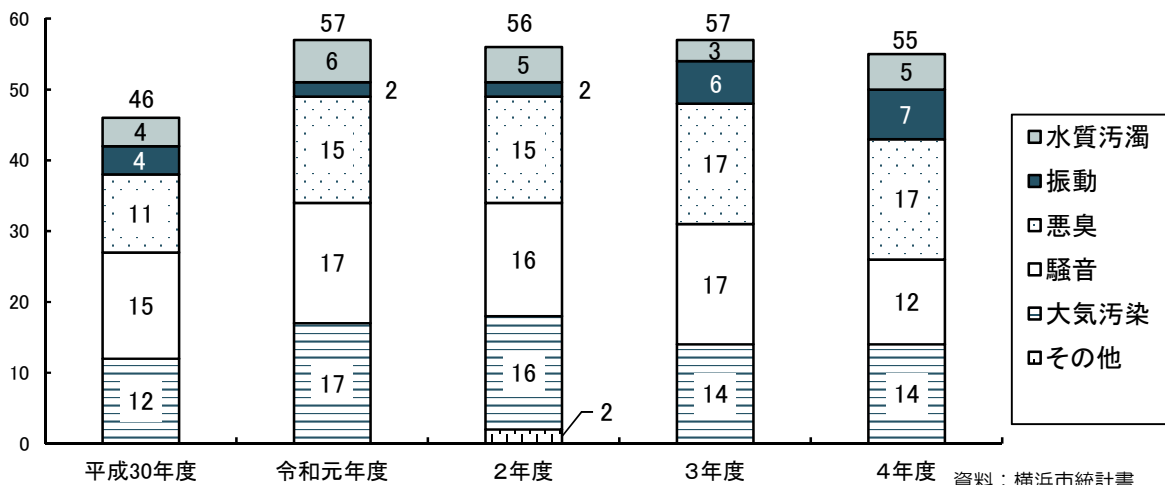
※水素イオン濃度指数とは酸性、アルカリ性の度合いを表す指標で、7より小さい場合が酸性、大きい場合がアルカリ性を表します。



※BODとは水中の微生物が有機物を分解するのに要した酸素量のこと、数値が高いほど水が汚れていることを示しています。

資料：横浜市統計書

●瀬谷区公害問題苦情発生件数の推移



資料：横浜市統計書

生活環境

消 防

●瀬谷区火災発生件数の推移

	令和元年	2年	3年	4年	5年	
火災件数(件)	16	21	23	15	30	
出火原因	放火(疑い含む)	3	1	6	1	7
	こ ん ろ	3(1)	3	2	3	2(1)
	電 気 機 器	2	0	0	2	2
	た ば こ	1	4	1	3	6
	ス ト ー プ	0	2	2	0	0
	そ の 他	7	11	12	6	13
焼損床面積(m ²)	246	441	53	94	393	
死者(人)	2	1	1	0	2	
負傷者(人)	6	6	6	4	1	



※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷消防署
 ※出火原因のこんろのうち、()内は食用油過熱出火の数値

●瀬谷区救急出場件数の推移

(単位:件)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	
出場件数	7,013	6,520	6,811	8,378	8,619	
内	急病	4,957	4,607	4,854	6,153	6,337
	一般負傷	1,309	1,241	1,297	1,469	1,557
	交通事故	365	333	322	377	369
訳	その他	382	339	338	379	356



※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷消防署

警 察

●瀬谷区内刑法犯認知件数の推移

(単位:件)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	
計	759	551	540	508	623	
内	窃盗犯	538	380	391	362	460
	凶悪犯	2	6	7	6	2
	粗暴犯	46	39	30	25	39
	知能犯	77	37	30	36	54
	風俗犯	11	13	24	12	8
	その他	85	76	58	67	60



※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷警察署

●瀬谷区内交通事故発生状況の推移

	令和元年	2年	3年	4年	5年		
件数(件)	412	364	375	374	307		
路線別(件)	一般国道246号	20	11	12	16	13	
	県道	横浜厚木線	30	28	28	35	20
		丸子中山茅ヶ崎線	44	36	42	37	32
		阿久和鎌倉線	12	7	7	8	7
		瀬谷柏尾線	31	38	32	46	28
	市道	環状4号線	54	53	60	48	45
		五貫目第78号線	23	19	24	0	0
		その他	171	156	160	160	138
	その他の道路	27	16	10	24	24	
	死者数(人)	1	3	2	2	4	
重傷者数(人)	20	8	14	10	10		
軽傷者数(人)	466	411	405	402	351		

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷警察署

●瀬谷区内運転免許保有者数(令和5年12月末現在)

人数	65歳以上	構成比
72,453	14,213	19.6%

資料：瀬谷警察署

●瀬谷区内運転免許証自主返納者数の推移

令和元年	2年	3年	4年	5年
558	407	640	418	311

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷警察署

生活環境

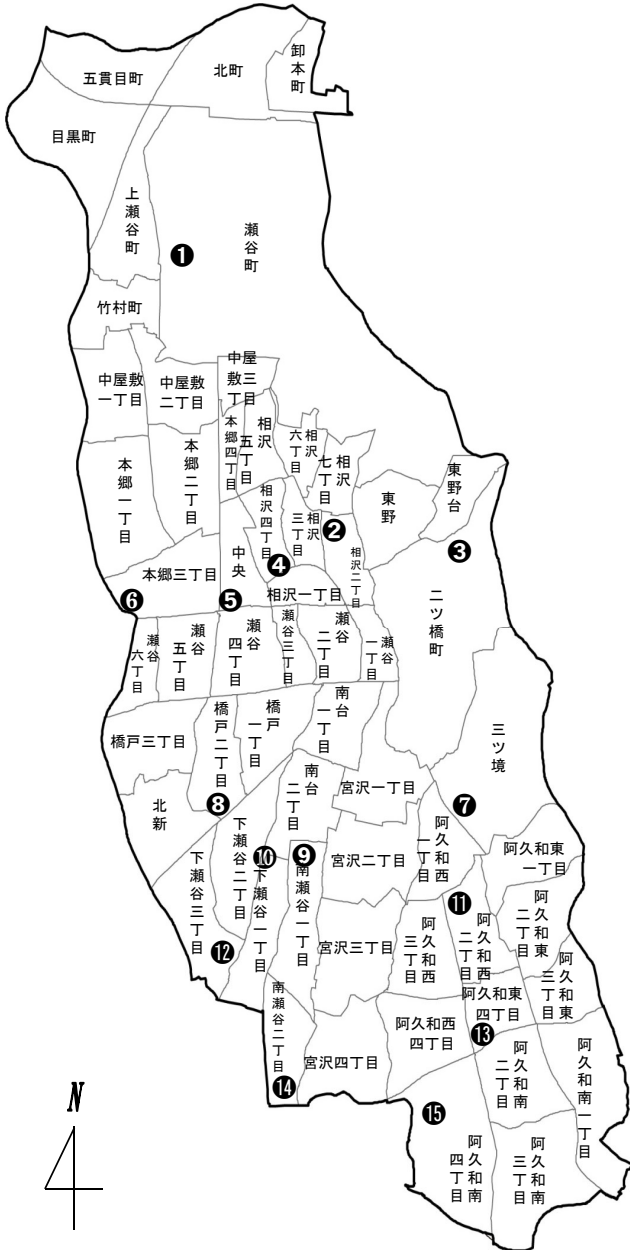
防災

● 瀬谷区内地域防災拠点

地域防災拠点は、震災時に、家が倒壊などにより自宅で生活できなくなった人たちが、一時的に生活するための避難場所です。瀬谷区内に15か所を指定しています。

	地域防災拠点	所在地
①	上瀬谷小学校	瀬谷町7140
②	相沢小学校	相沢二丁目56-1
③	二ツ橋小学校	二ツ橋町507
④	瀬谷小学校	相沢四丁目1-1
⑤	瀬谷中学校	中央5-41
⑥	大門小学校	本郷三丁目47-5
⑦	三ツ境小学校	三ツ境157
⑧	瀬谷第二小学校	橋戸二丁目41-1
⑨	南瀬谷小学校	南瀬谷一丁目1-1
⑩	南瀬谷中学校	南台二丁目2-8
⑪	原中学校	阿久和西二丁目1-6
⑫	瀬谷さくら小学校	下瀬谷三丁目58-1
⑬	原小学校	阿久和東四丁目33-1
⑭	横浜ひなたやま支援学校	南瀬谷二丁目20
⑮	旧阿久和小学校	阿久和南四丁目8-2

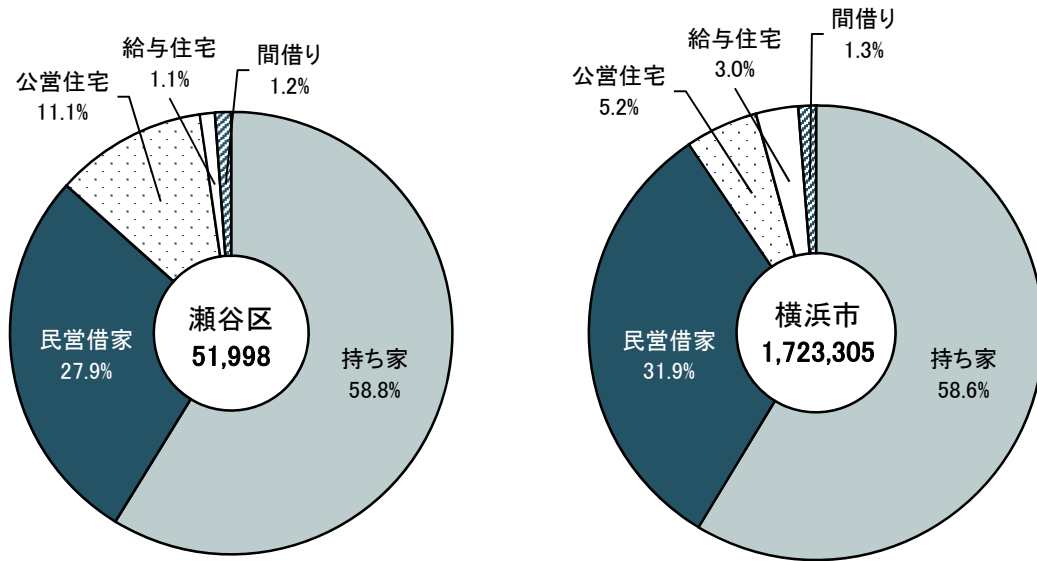
(基準日：令和6年4月1日)



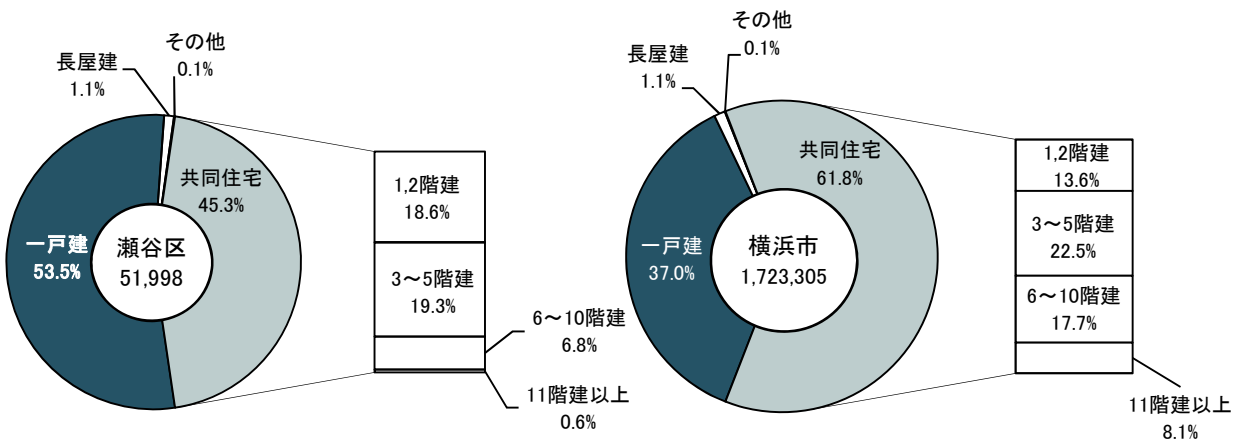
資料：瀬谷区総務課

住宅・建築

●住宅の所有形態別世帯数の割合（令和2年国勢調査）



●住宅の建て方別世帯数の割合（令和2年国勢調査）



●瀬谷区建築確認申請受理件数の推移

(単位:件)

	一戸建ての住宅	併用住宅	共同住宅	事務所	その他	合計
平成30年度	509	1	26	3	23	562
令和元年度	451	2	15	2	34	504
2年度	459	1	23	3	22	508
3年度	609	4	13	2	20	648
4年度	507	1	18	2	30	558

資料：建築局



教育・文化

教育

●瀬谷区内学校の概況（令和5年5月1日現在：令和5年度神奈川県学校基本統計）

項目 (※1)	学校数	学級数 (※2)	在学・在園者数(人)			1校当たりの 在学者数(人)	教員数(人) (※3)
			総数	男	女		
幼稚園	9	56	1,088	553	535	121	142
認定こども園	4	36	938	477	461	235	151
小学校	11	238	5,542	2,797	2,745	504	387
中学校	6	106	3,095	1,567	1,528	516	248
高等学校	2	25	2,677	1,499	1,178	1,339	217
特別支援学校	4	153	758	512	246	190	403

※1 認定こども園は、平成27年度より新たな学校種として追加

※2 高等学校の学級数には私立学校（データなし）は含まれません。

※3 教員数には兼務者を含む

●瀬谷区内学校の在学・在園者数内訳（令和5年5月1日現在：令和5年度神奈川県学校基本統計）

(単位:人)

幼稚園	総数	男	女
3歳児	342	185	157
4歳児	347	171	176
5歳児	399	197	202
計	1,088	553	535

(単位:人)

中学校	総数	男	女
1学年	1,019	510	509
2学年	1,020	528	492
3学年	1,056	529	527
計	3,095	1,567	1,528

認定こども園	総数	男	女
0~2歳児	108	61	47
3歳児	261	136	125
4歳児	278	142	136
5歳児	291	138	153
計	938	477	461

高等学校	総数	男	女
1学年	862	478	384
2学年	968	537	431
3学年	847	484	363
計	2,677	1,499	1,178

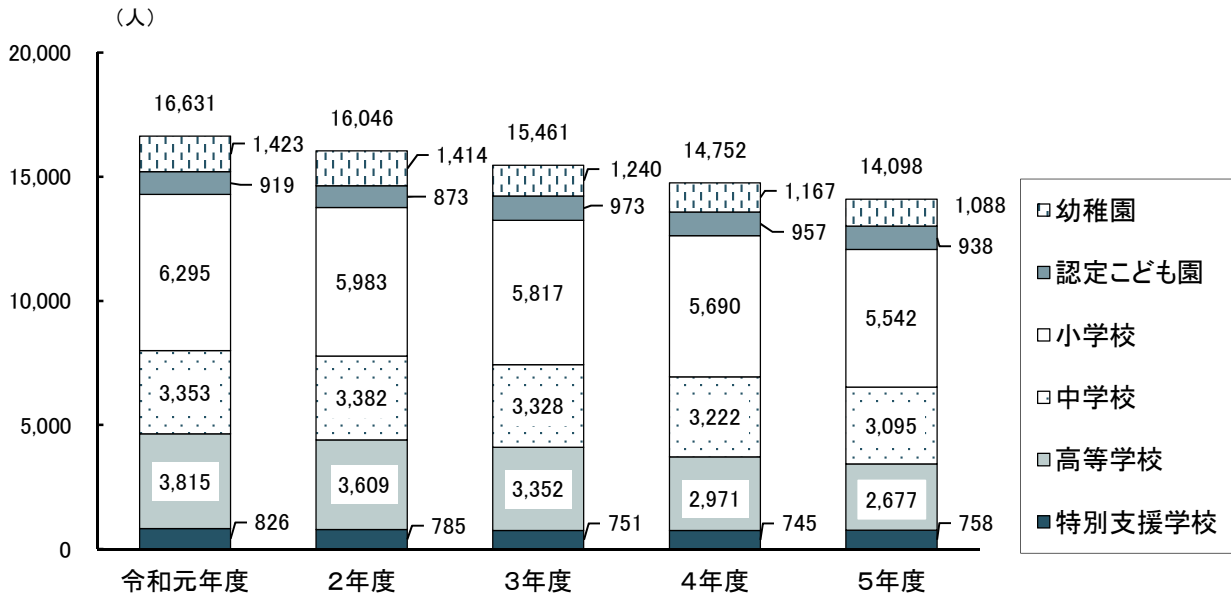
小学校	総数	男	女
1学年	860	445	415
2学年	899	446	453
3学年	924	451	473
4学年	890	450	440
5学年	994	478	516
6学年	975	527	448
計	5,542	2,797	2,745

特別支援学校	総数	男	女
幼稚部	—	—	—
小学部	113	70	43
中学部	71	47	24
高等部	574	395	179
計	758	512	246



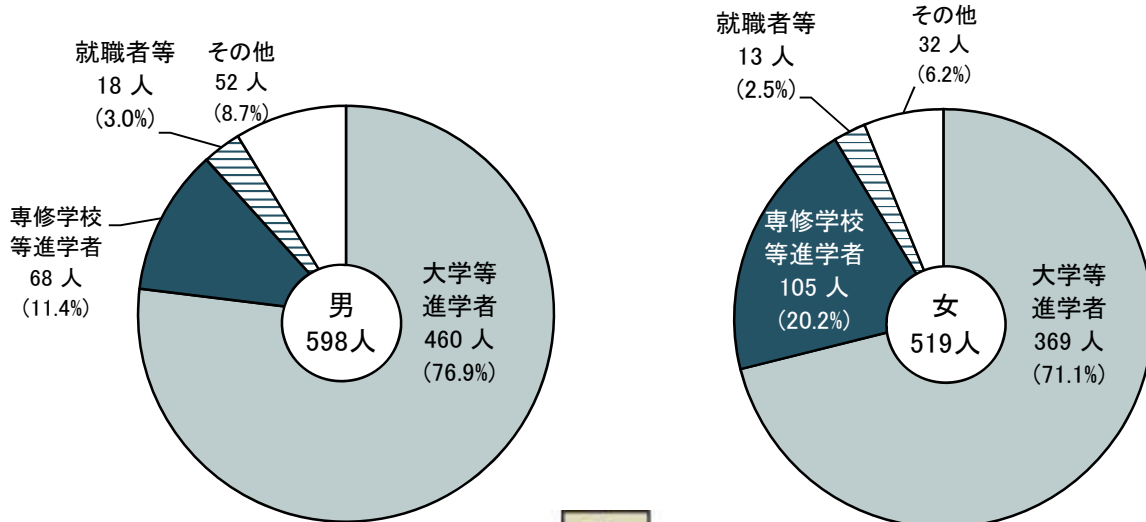
教育・文化

●瀬谷区内学校の在学・在園者数推移 (各年5月1日現在：各年度神奈川県学校基本統計)



●瀬谷区内高等学校卒業後の男女別進路状況

(令和5年度神奈川県学校基本統計)



教育・文化

文化

●瀬谷区内市民利用施設利用者数

(単位:人)

施設名	開設年	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
瀬谷区民文化センターあじさいプラザ	令和4年				7,477※	87,881
瀬谷公会堂	昭和46年	74,982	71,601	30,995	44,968	9,264
瀬谷地区センター	昭和55年	146,790	138,545	72,608	101,007	102,488
阿久和地区センター	平成8年	112,402	79,701	45,290	58,989	67,277
中屋敷地区センター	平成11年	121,475	105,167	32,828	50,937	47,312
瀬谷図書館	昭和60年	175,350	163,694	130,304	161,137	146,211
瀬谷スポーツセンター	昭和62年	273,464	282,492	133,782	92,043	193,204
瀬谷さくら小学校コミュニティ・スクール	平成3年	24,790	23,891	7,088	10,315	13,567
南瀬谷小学校コミュニティ・スクール	平成7年	28,459	23,810	8,694	13,165	18,859
東野中学校コミュニティ・スクール	平成16年	18,061	16,850	6,713	9,506	13,583
原中学校コミュニティ・スクール	平成18年	42,590	40,966	12,948	19,200	26,047
和楽荘(老人福祉センター)	昭和55年	73,742	61,521	20,423	27,321	30,396
こどもログハウス(まるたのしろ)	平成5年	32,652	24,648	13,008	22,267	24,505

※瀬谷区民文化センターあじさいプラザは令和4年3月オープンため、当月以前の利用者数データはありません。

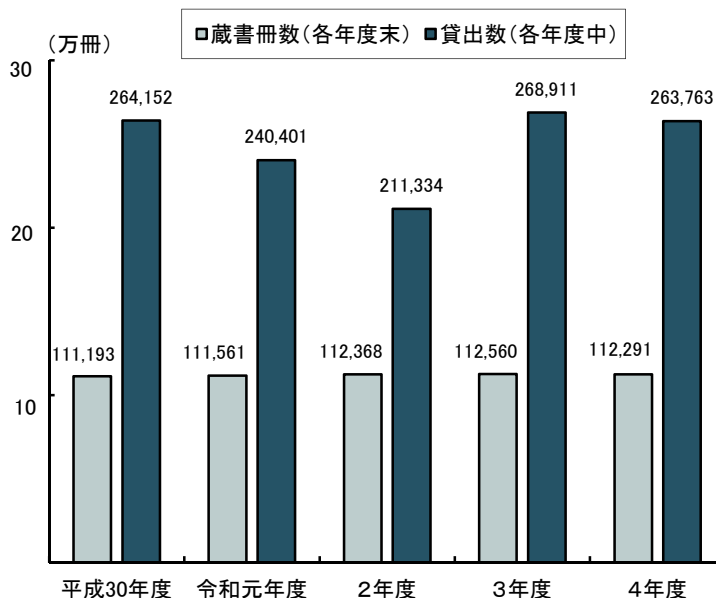
資料：瀬谷区地域振興課、教育委員会事務局

●瀬谷図書館蔵書冊数 (令和4年度末)

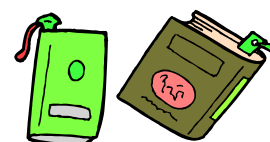
●瀬谷図書館蔵書冊数・貸出冊数の推移

種類	冊数(冊)	割合
総記	2,376	2.1%
哲学	2,581	2.3%
歴史	6,956	6.2%
社会科学	8,204	7.3%
自然科学	4,662	4.2%
技術	5,426	4.8%
産業	1,974	1.8%
芸術	7,014	6.2%
言語	1,742	1.6%
文学	30,171	26.9%
郷土資料	5,917	5.3%
未区分	106	0.1%
児童書	35,162	31.3%
計	112,291	100.0%

資料：横浜市統計書



資料：横浜市統計書



戸籍・市税

戸籍

●戸籍事務取扱件数（令和4年度）

本籍数	45,884（R5.3.31現在）		
本籍人口	112,216人（R5.3.31現在）		
届出件数	5,749件	1日あたり件数	
内 訳	出生	989件	2.7件
	婚姻	1,132件	3.1件
	死亡	1,822件	5.0件
	離婚	330件	0.9件
	その他	1,476件	4.0件

資料：瀬谷区戸籍課

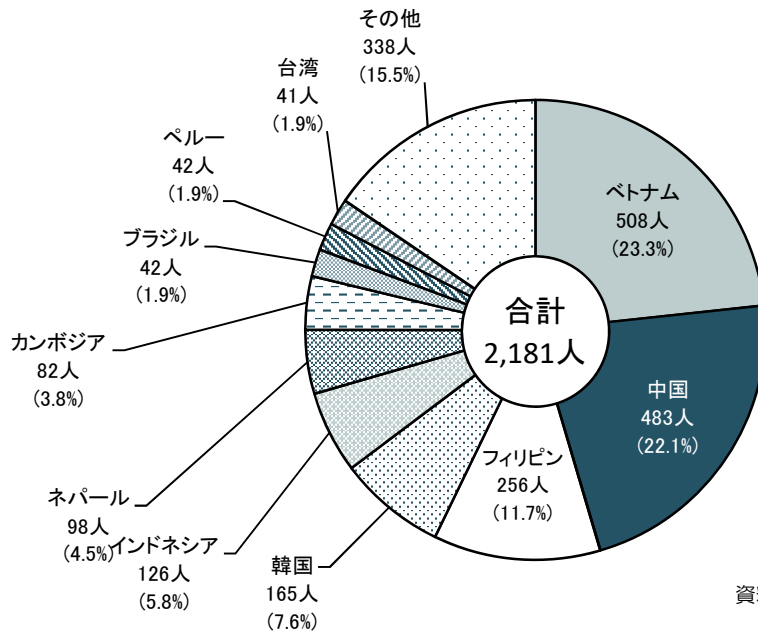
●住民基本台帳事務取扱件数（令和4年度）

住民登録世帯数	57,986世帯（R5.3.31現在）			
住民登録人口	122,132人（R5.3.31現在）			
届出件数	10,103件	1日あたり件数		
内 訳	転入	市外	2,409件	6.6件
		市内	1,606件	4.4件
	転出	市外	2,387件	6.5件
		市内	1,225件	3.4件
	転居	1,221件	3.3件	
	その他	1,255件	3.4件	

資料：瀬谷区戸籍課

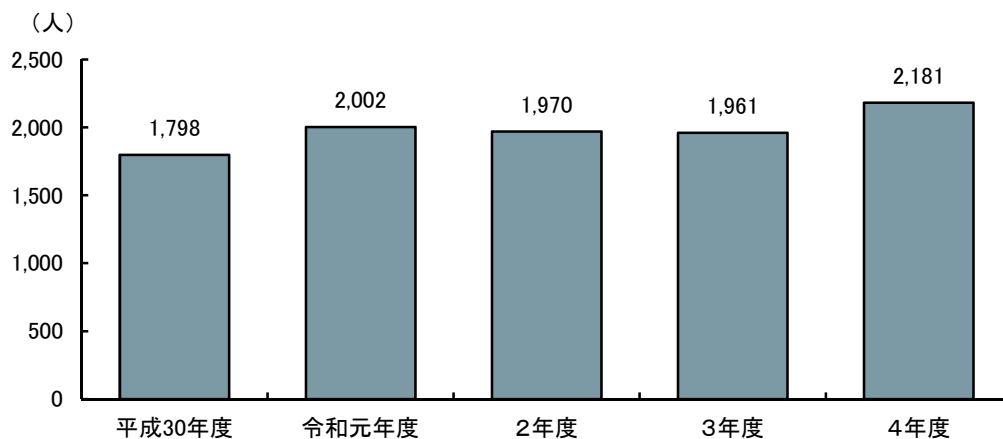
※1日あたり件数は、1年間の届出件数を実業務日ではなく、365日で割り返した数値です。

●瀬谷区地域・国籍別外国人人口（令和4年度末）



資料：横浜市統計書

●瀬谷区外国人人口の推移（各年度末）



資料：横浜市統計書

戸籍・市税

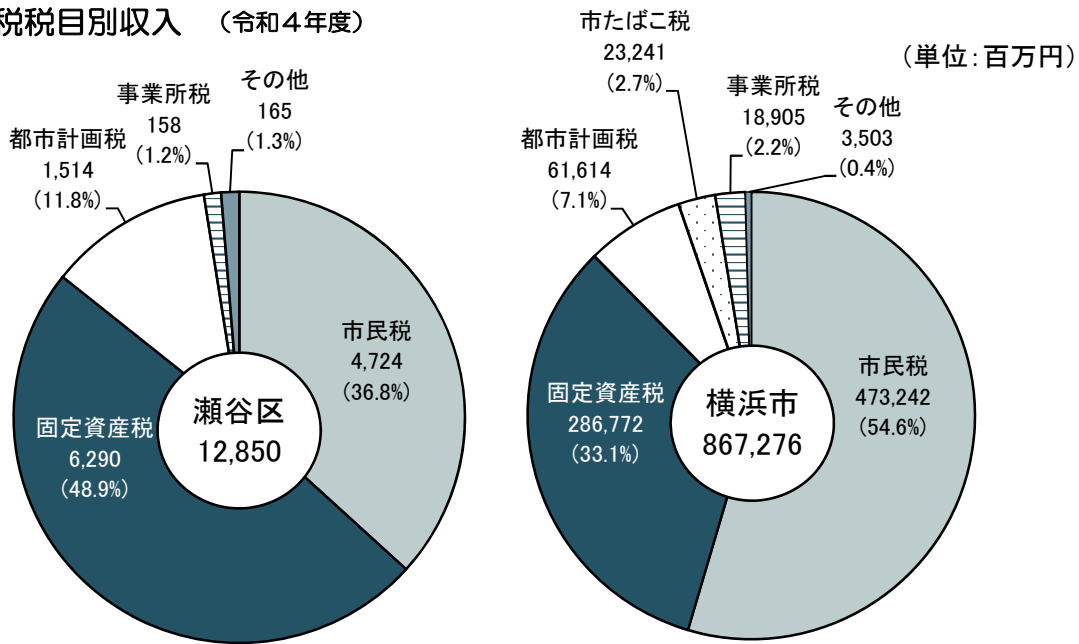
市税

●市税収入状況 (令和4年度)

項目		瀬谷区	横浜市
調定	税額	13,033百万円	873,139百万円
	件数	453,402件	16,184,827件
収入	税額	12,850百万円	867,276百万円
	件数	444,343件	15,903,855件
収納率	税額	98.59%	99.33%
	件数	98.00%	98.26%

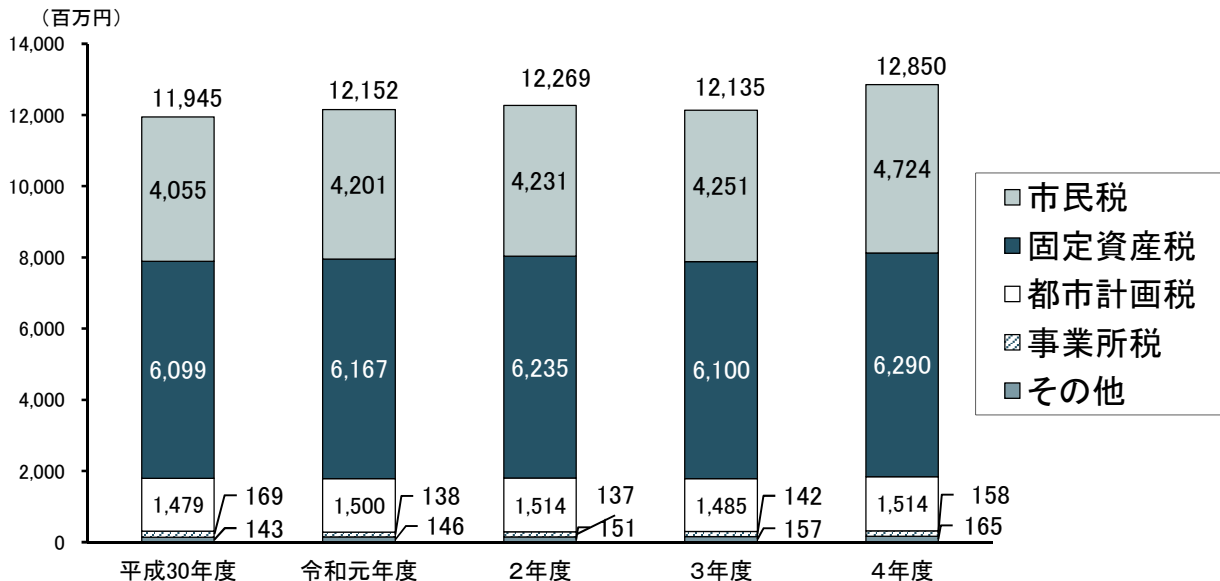
資料：瀬谷区税務課

●市税税目別収入 (令和4年度)



資料：瀬谷区税務課

●市税税目別収入の推移 (瀬谷区)



資料：瀬谷区税務課

福祉

生活保護

●保護世帯数及び保護人員の推移（各年度末現在）

	瀬谷区				横浜市			
	人口(人)	保護世帯	保護人員(人)	保護率(%)	人口(人)	保護世帯	保護人員(人)	保護率(%)
平成30年度	122,561	2,669	4,035	3.29	3,738,419	53,889	69,633	1.86
令和元年度	121,914	2,667	3,933	3.23	3,748,386	54,110	68,597	1.83
2年度	122,335	2,725	3,941	3.22	3,772,457	54,800	69,162	1.83
3年度	121,901	2,783	3,960	3.25	3,766,056	55,259	69,098	1.83
4年度	121,472	2,837	4,009	3.30	3,765,271	55,557	69,008	1.83

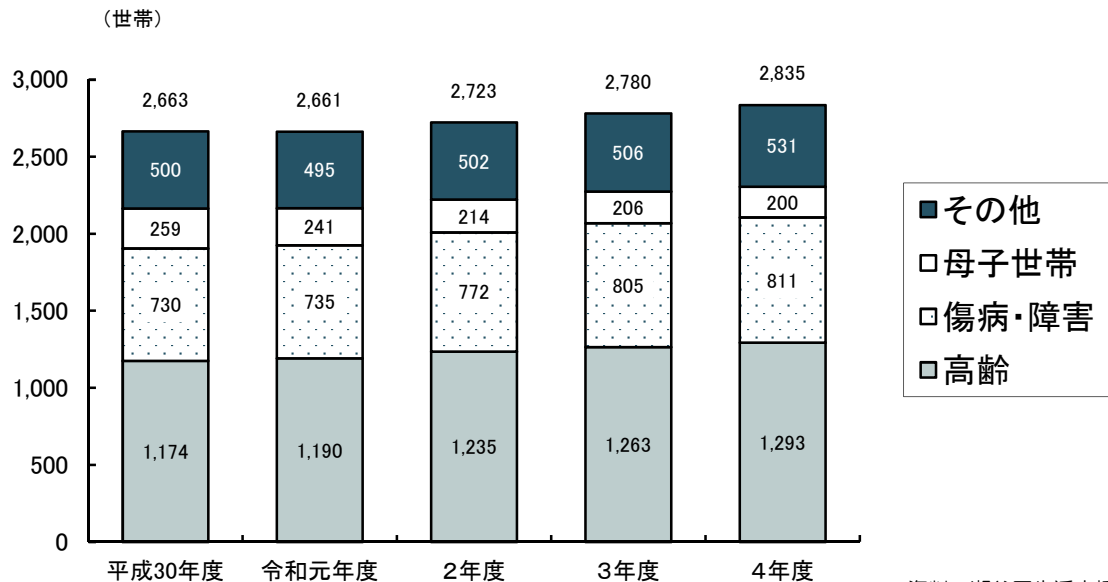
※人口は各年度3月1日現在の推計人口です。

資料：瀬谷区生活支援課

※令和2年刊行から、保護率を人口100人あたりの被保護人員に変更しました（従前は人口1,000人あたりで掲載）。

●瀬谷区生活保護世帯類型別の状況（各年度末現在）

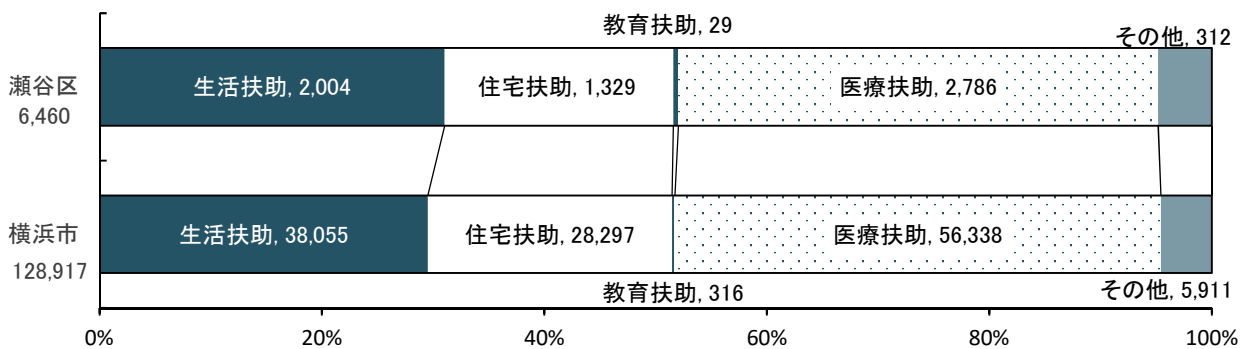
*保護停止中の世帯を除く



資料：瀬谷区生活支援課

●保護費支給額の構成比（令和4年度）

(単位：百万円)

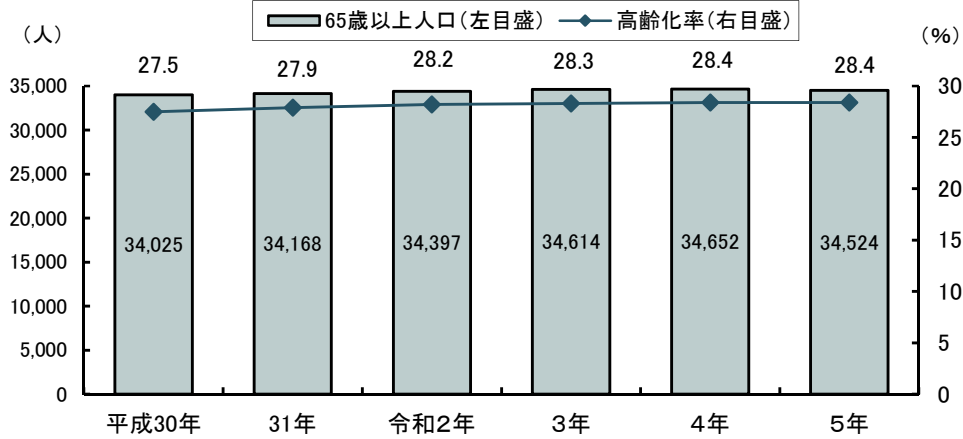


資料：瀬谷区生活支援課

福祉

高齢者福祉

●瀬谷区高齢者数及び高齢化率の推移（各年1月1日現在推計）



※高齢化率：総人口に占める65歳人口の割合

資料：横浜市統計書

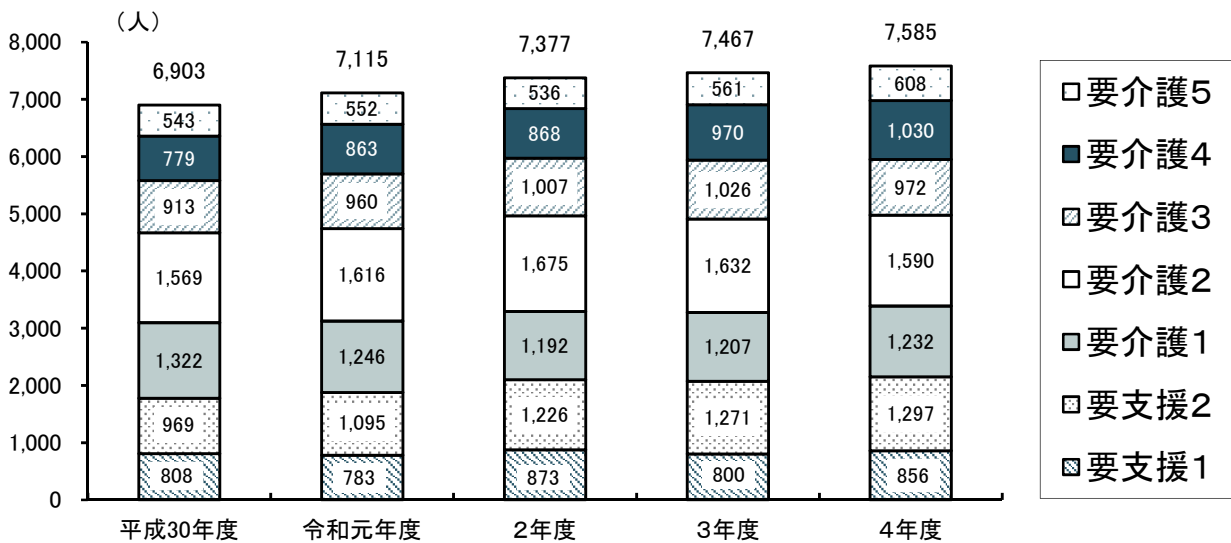
●瀬谷区高齢者在宅サービス実施状況（令和4年度）

サービス項目	実績	サービス項目	実績
訪問指導件数(40歳以上)(年間)	454 件	生活支援ショートステイ利用件数(年間)	2 件
脳卒中リハビリ教室(年間)	実施回数 35 回	外出支援サービス利用件数(年間)	31 件
	延べ参加人数 182 人	あんしん電話利用者数(令和4年度末)	53 人
食事サービス利用者数(令和4年度末)	12 人	紙おむつ給付利用者数(令和4年度末)	309 人
住環境整備事業(年間)	0 件	訪問理美容サービス登録者数(令和4年度末)	56 人

資料：瀬谷区高齢・障害支援課

介護保険

●瀬谷区要介護認定者数の推移（各年度末）



資料：瀬谷区高齢・障害支援課

●瀬谷区介護保険第1号被保険者数の推移（各年4月1日現在）

平成31年	令和2年	3年	4年	5年
33,997	34,233	34,432	34,398	34,308

(単位：人)

資料：瀬谷区保険年金課

福祉

地域福祉

●瀬谷区シニアクラブ等の状況 (各年度末) ●瀬谷区民生委員・児童委員活動状況 (令和4年度)

	クラブ数	会員数(人)		
		男	女	合計
平成30年度	68	1,699	2,249	3,948
令和元年度※	62	1,574	2,057	3,631
2年度	59	1,376	1,837	3,213
3年度	55	1,239	1,639	2,878
4年度	53	1,132	1,518	2,650

※ミニクラブを除く

資料：瀬谷区高齢・障害支援課

民生委員・児童委員数(主任児童委員含む)(R4.4.1現在)		156人
相談・支援	高齢者に関すること	2,692件
	障害者に関すること	275件
	子どもに関すること	370件
	その他	686件
地域福祉活動・自主活動		8,453件
民児協運営・研修		6,623件
行事・事業・会議への参加協力		3,378件
調査・実態把握		2,604件
証明事務		99件
訪問・連絡活動		16,065回
その他訪問		7,851回

資料：瀬谷区福祉保健課

●高齢者に対する助成 (令和4年度)

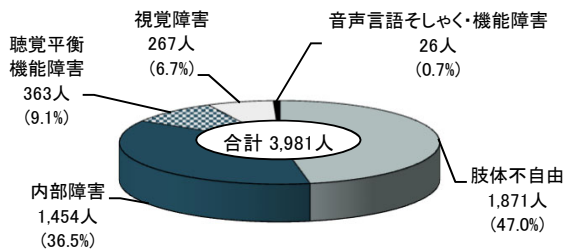
敬老特別乗車証(70歳以上)	10,764件
----------------	---------

資料：瀬谷区高齢・障害支援課

障害者福祉

●瀬谷区障害者手帳所持者数 (令和4年度末)

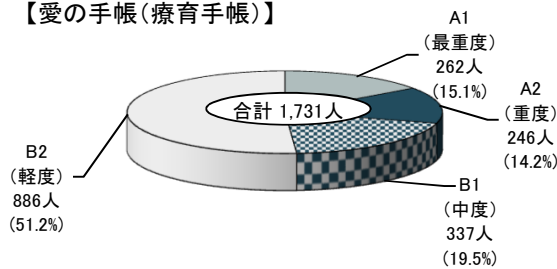
【身体障害者手帳】



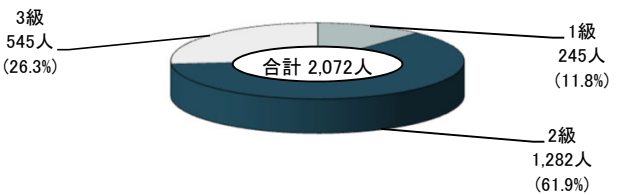
【障害の等級別内訳】

等級	人数
1級	1,471人
2級	598人
3級	536人
4級	979人
5級	195人
6級	202人
計	3,981人

【愛の手帳(療育手帳)】



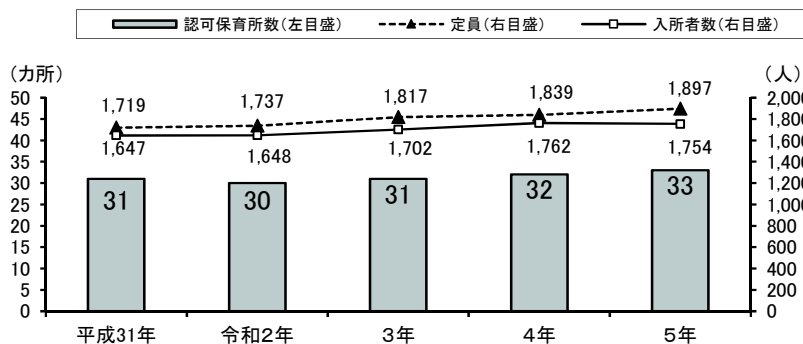
【精神障害者保健福祉手帳】



資料：瀬谷区高齢・障害支援課

児童福祉

●瀬谷区保育所入所者数の推移 (各年4月1日)



資料：瀬谷区こども家庭支援課

福祉

国民年金

●瀬谷区国民年金被保険者数の推移（各年度末）

	総数	第1号被保険者			第3号被保険者
		強制	任意	小計	
平成30年度	24,939	15,224	214	15,438	9,501
令和元年度	24,385	14,980	213	15,193	9,192
2年度	24,455	15,320	212	15,532	8,923
3年度	23,922	15,146	221	15,367	8,555
4年度	23,202	14,844	225	15,069	8,133

資料：瀬谷区保険年金課

第1号被保険者：自営業者、学生、農漁業者など厚生年金や共済年金に加入していない人

第3号被保険者：厚生年金や共済年金に加入している人の被扶養配偶者

●瀬谷区国民年金受給者数の推移（各年度末）

	拠出・無拠出別		事由別			計
	拠出年金	無拠出年金	老齢給付	障害給付	遺族給付	
平成30年度	32,734	1,196	31,590	2,177	163	33,930
令和元年度	32,984	1,242	31,818	2,245	163	34,226
2年度	33,303	1,281	32,115	2,306	163	34,584
3年度	33,045	1,307	31,830	2,355	167	34,352
4年度	33,069	1,348	31,794	2,445	178	34,417

資料：瀬谷区保険年金課

拠出年金：本人又は配偶者が加入する年金制度から、保険料をかけて受給資格を満たした人が受けられる年金

無拠出年金：20歳前から障害のある人、加入期間がないため拠出年金を受けられない人などが保険料をかけずに受けられる年金

国民健康保険・高齢者医療・医療費助成

●瀬谷区国民健康保険加入状況（令和4年度末）

人口			世帯			保険料収納状況		
総数(人)	加入者(人)	加入率	総数(世帯)	加入世帯	加入率	調定額(千円)	収納額(千円)	徴収率
121,536	22,046	18.1%	53,713	14,979	27.9%	2,377,810	2,273,253	95.6%

資料：瀬谷区保険年金課

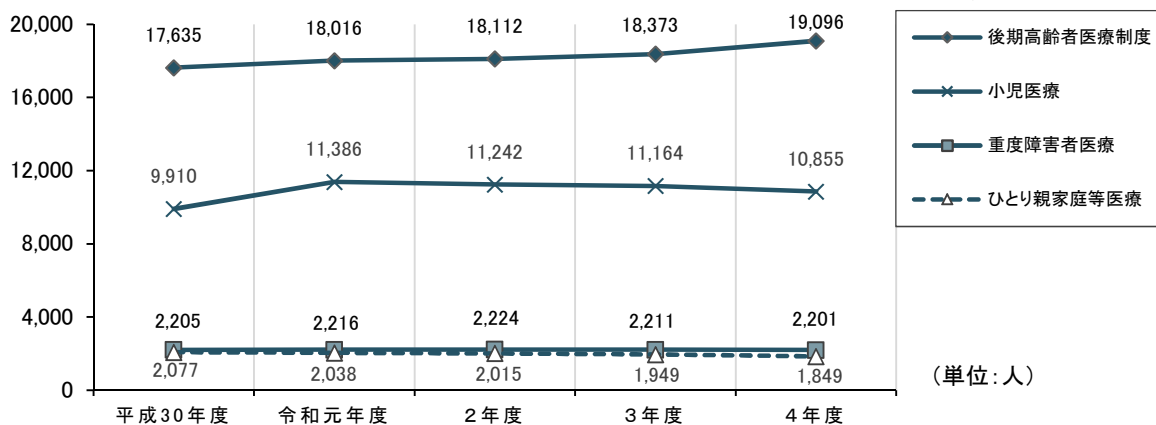
※人口及び世帯の総数は「横浜市の国民健康保険」に準じた令和5年4月1日現在の推計人口としています。

●瀬谷区国民健康保険加入者数の推移（各年度末）

	一般被保険者		退職者医療制度被保険者
	（単位：人）		
平成30年度	25,555	13	
令和元年度	24,323	0	
2年度	24,099	0	
3年度	23,421	0	
4年度	22,046	0	

資料：瀬谷区保険年金課

●瀬谷区後期高齢者医療制度加入者数及び医療費助成制度受給者数の推移（各年度末）



（単位：人）

※後期高齢者医療制度は平成20年4月1日より施行

資料：瀬谷区保険年金課

保健・衛生

保 健

●医療施設の状況（令和5年12月1日現在）

	病院		一般診療所	歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	施設数
横浜市	132	27,975	3,217	2,120
瀬谷区	5	603	86	54

資料：横浜市統計書



●瀬谷区死因別死亡状況（令和3年）

	死亡数
全死因	1,462
悪性新生物	396
心疾患(高血圧性を除く)	215
脳血管疾患	95
肺炎	56
老衰	208
不慮の事故	45
自殺	19

資料：瀬谷区福祉保健課

※令和3年が最新です。

※参照元の横浜市統計情報ポータルに基づいた内容、記載順になります。

●主要死因別死亡状況の推移

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎
平成29年	393	186	107	94
30年	367	184	84	77
令和元年	372	206	90	72
2年	361	186	104	69
3年	396	215	95	56

資料：瀬谷区福祉保健課

※令和3年が最新です。

●瀬谷区乳幼児健診実施状況（令和4年度）

健診名	健診回数(回)	対象児数(人)	受診児数(人)	受診率(%)
4か月児健診	18	719	695	96.7
1歳6か月児健診	18	742	744	100.3
3歳児健診	18	793	776	97.9

資料：瀬谷区こども家庭支援課

※令和3年度の対象児童が4年度に受診した場合など、対象児童数を受診児数が上回る場合があります。

●瀬谷区がん検診実施状況（令和4年度）

検診名(対象者)	実施回数(回)	受診者数(人)	要精密検査者数(人)	要精検率(%)
肺がん(40歳以上)	6	129	12	9.3

資料：瀬谷区福祉保健課

保健・衛生

衛生

●瀬谷区畜犬登録申請件数等の推移

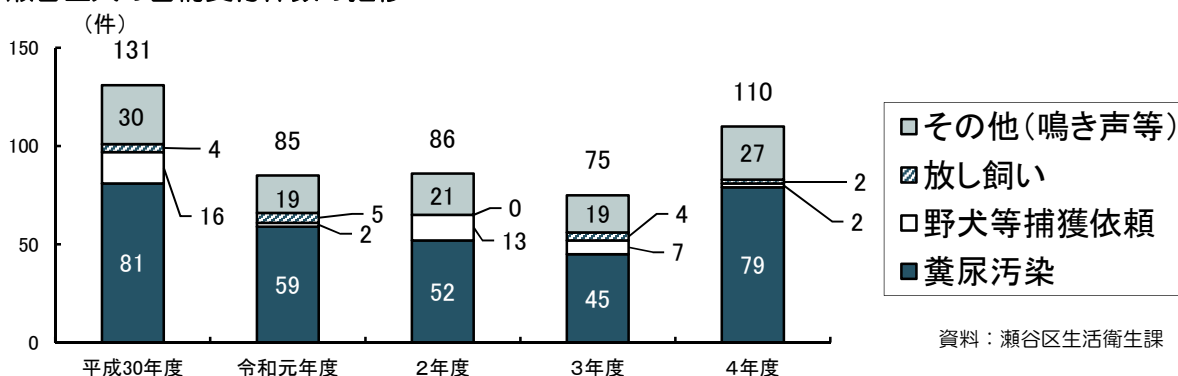
	登録頭数(頭)	登録申請件数(件)	収容犬頭数(頭)	返還頭数(頭)	引取頭数(頭)
平成30年度	6,419	126	5	0	6
令和元年度	6,402	214	3	0	4
2年度	6,427	168	8	1	6
3年度	6,387	155	14	0	12
4年度	6,170	171	3	1	2



資料：瀬谷区生活衛生課

※「登録申請件数」は区役所窓口での申請件数です。

●瀬谷区犬の苦情受付件数の推移



●瀬谷区猫の引取り頭数の推移

(単位:頭)

	飼えなくなった猫			収容した猫				計
	成猫	子猫	計	傷病	自活不能	遺棄	その他	
平成30年度	5	0	5	32	26	0	0	58
令和元年度	6	1	7	16	56	1	0	73
2年度	5	0	5	25	56	0	0	81
3年度	0	0	0	18	27	0	0	45
4年度	5	0	5	16	20	0	1	37



資料：瀬谷区生活衛生課

●食中毒発生件数及び患者数の推移

	瀬谷区		横浜市	
	件数(件)	患者数(人)	件数(件)	患者数(人)
平成30年	1	1	52	381
令和元年	3	36	50	258
2年	1	2	37	93
3年	0	0	32	236
4年	0	0	31	118

資料：横浜市統計書

●瀬谷区食品関係苦情届出件数の推移

(単位:件)

	異物混入	カビ発生	腐敗・変敗	有症苦情	取扱不衛生	その他	計
平成30年度	8	1	0	8	0	2	19
令和元年度	7	2	1	7	7	2	26
2年度	5	1	1	5	10	7	29
3年度	4	0	0	4	0	2	10
4年度	7	1	3	3	2	2	18

資料：瀬谷区生活衛生課

●瀬谷区ねずみ・衛生昆虫等の駆除相談件数の推移

(単位:件)

	スズメバチ	その他のハチ	ねずみ	ダニ	シロアリ	シラミ	ガ	その他	計
平成30年度	116	171	160	20	23	1	6	253	750
令和元年度	82	141	150	8	15	0	7	238	641
2年度	65	116	130	7	7	4	6	201	536
3年度	75	97	112	9	8	0	14	186	501
4年度	57	106	54	3	12	0	3	103	338

資料：瀬谷区生活衛生課

選挙

●選挙人名簿登録者数（令和5年12月1日現在）

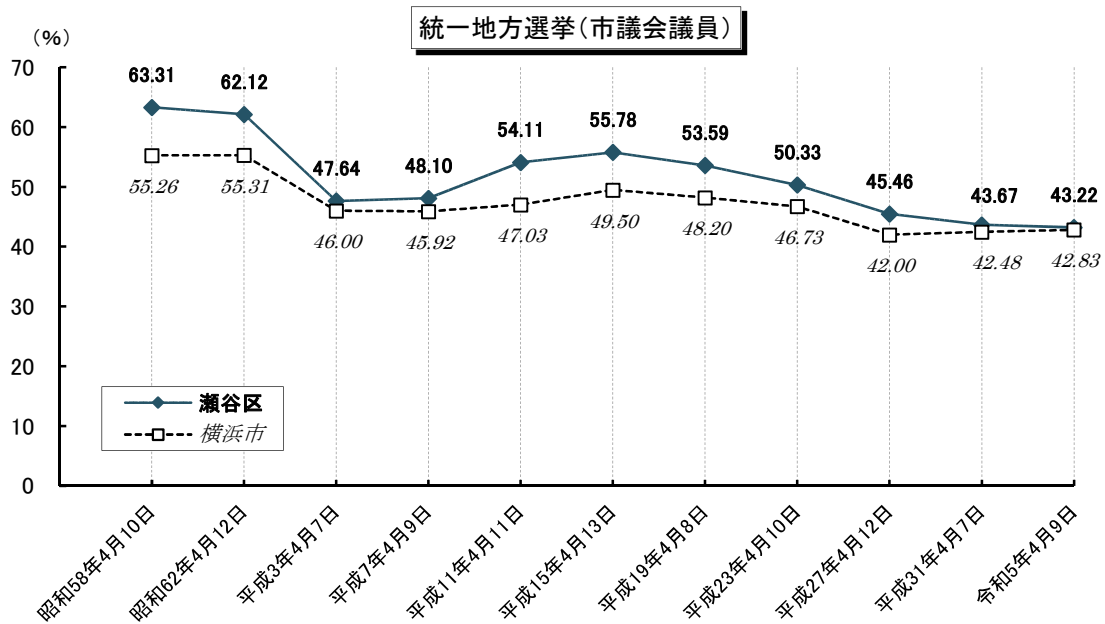
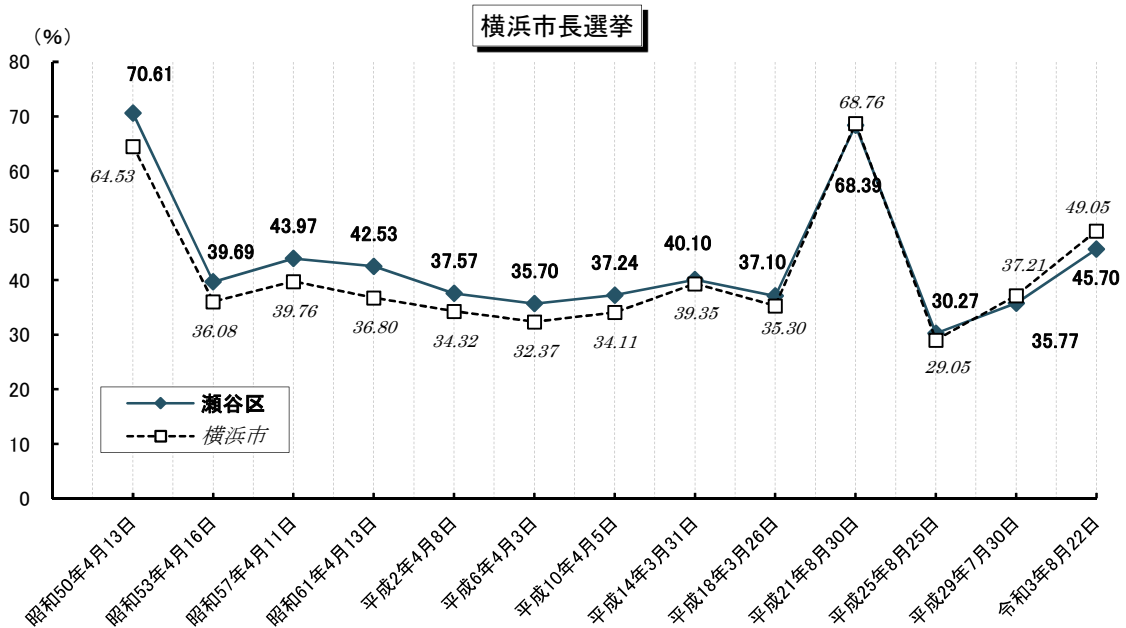
	男	女	計(人)
瀬谷区	50,209	53,301	103,510
横浜市	1,544,878	1,592,267	3,137,145

●在外選挙人名簿登録者数（令和5年12月1日現在）

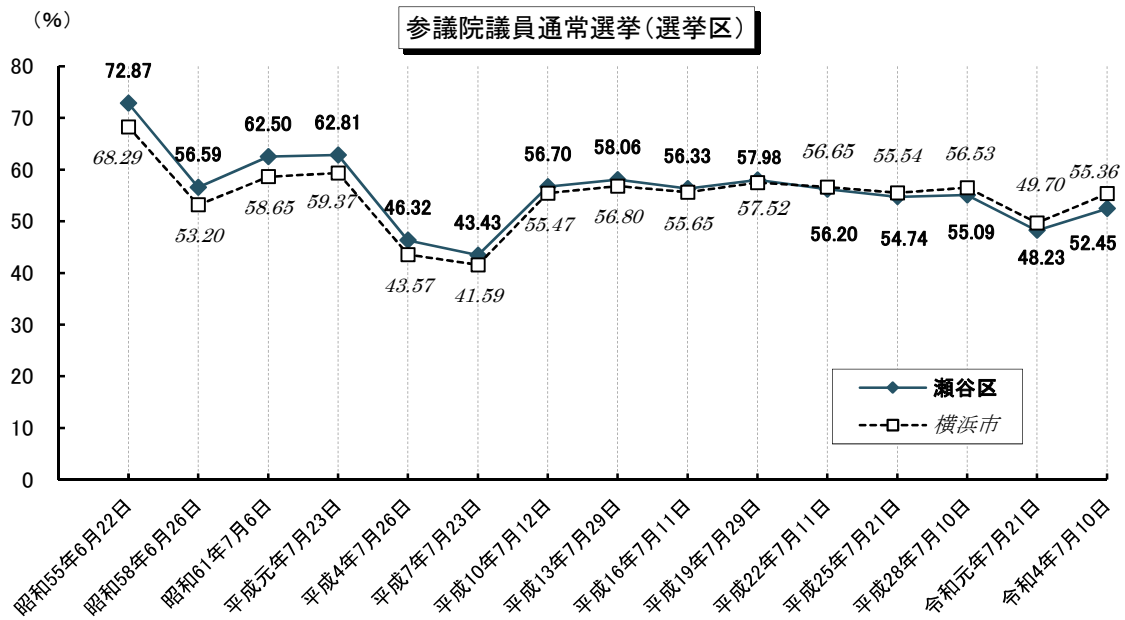
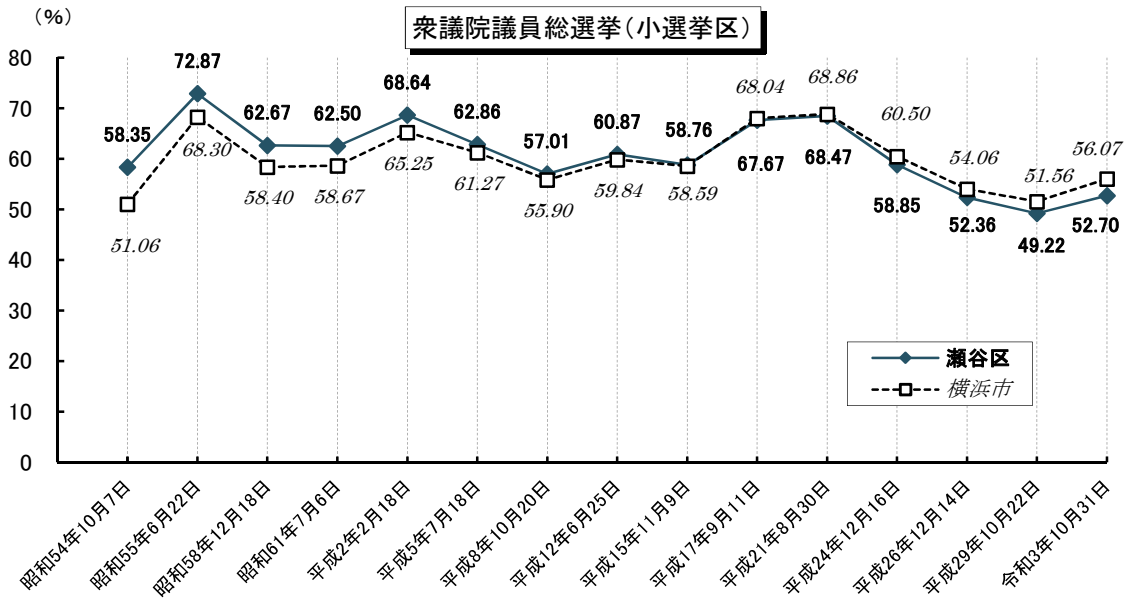
	男	女	計(人)
瀬谷区	33	50	83
横浜市	2,107	2,564	4,671

※国外に居住する日本国民に選挙権の行使を保障するために設けられた制度です。平成12年の衆議院選挙から投票できるようになりました（国政選挙のみ）。

●各選挙の投票率



選挙



資料：瀬谷区選挙管理委員会

注：平成10年6月1日以後の選挙から投票時間が延長され、午前7時から午後8時までとなっています。

平成15年12月1日以後の選挙から期日前投票制度が導入されました。

公職選挙法改正により、平成28年執行の第24回参議院議員通常選挙から選挙権が18歳以上に引き下げられました。



統計

●主な基幹統計調査

基幹統計調査とは、国や地方自治体が作成するための調査で「統計法」に基づいて行われます。これらの調査結果は国や地方自治体の行政施策の立案・決定するための基礎資料として活用されたり、民間企業や教育・研究など幅広く利用されています。

調査名	目的	周期	次回実施 予定時期	主管
就業構造基本調査	国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得る	5年	令和9年(2027年)10月	総務省
住宅・土地統計調査	住宅及び世帯の居住状況の実態を把握し、その現状と推移を明らかにすることにより、住生活関係諸施策の基礎資料を得る	5年	令和10年(2028年)10月	総務省
経済センサス-基礎調査 活動調査	事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る	5年	◆基礎調査 令和6年(2024年)実施予定 ◆活動調査 令和8年(2026年)6月	総務省 総務省・ 経済産業省
全国家計構造調査	家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにする	5年	令和6年(2024年) 10～11月	総務省
農林業センサス	農林業の現状とその動向を明らかにし、農林行政の推進に必要な基礎的かつ総合的な統計資料を整備する	5年	令和7年(2025年) 2月	農林水産省
国勢調査	国内の人及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る	5年	令和7年(2025年) 10月	総務省

資料：瀬谷区総務課



～インターネットによる統計情報提供～ 「横浜市統計情報ポータル」

横浜市の最新の人口・世帯数や、主要な統計情報を横浜市ホームページで提供しています。

横浜市統計情報ポータル

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/>



～はまの統計 お届けします～「統計メールマガジン」

統計メールマガジン「横浜統計通信<はまめる>」は、横浜市の最新の統計情報を電子メールで毎月お届けする無料メールマガジンです。「横浜市人口ニュース」や「大都市推計人口」の情報をお知らせするとともに、横浜市の統計新着情報をすべてご紹介いたします。

配信サービスの申込み(登録)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/oshirase/ml.html>



横浜市コールセンター
～便利な暮らしの情報ガイド～



市役所や区役所の制度や各種手続、イベント、施設等に関するお問い合わせといった、市政情報や生活情報、最新のイベント情報などの多様なお問い合わせについて、専門のセンターでご案内するサービス窓口です。

市役所や区役所の制度や手続き・イベント・施設・市営交通に関する問合せや、「どこに聞いていいのかわからない」時にお気軽にご利用ください。

受付時間	午前8時～午後9時(土日祝日を含む毎日)
電話番号	045-664-2525
ファックス番号	045-664-2828



令和6年刊行

区勢統計要覧 瀬谷

発行 令和6年3月

発行者 横浜市瀬谷区役所総務課

〒246-0021

横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地

電話 (045)367-5615

FAX (045)366-9657



幸せが実感できる**瀬谷**づくり

～思い出も 未来も共に この瀬谷で～

